

治安維持法案特別委員會議事速記録第三號

大正十四年三月十六日(月曜日)午前十時
二十六分開會

○委員長(公爵一條厚基君) ソレデヤ是カラ開會イタシマス

○渡邊暢君 私ハ全ク司法省ダケノ關係ノコトデアリマス、且ツ私ハ賛成トカ反對トカ云フノデハナクシテ、此法律案ガ此儘通過シタナラバ執行官トシテ疑ガアリヤセヌカト云フ所ダケヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、デ三點ゴザイマスガ、第一ノ問題トシテハ本會議ノ時ニモチヨット伺ヒマシタガ、「國體若ハ政體」ト云フコトガ最初ノ案ニアリマシタノデアリマス、ソレヲ「若ハ政體」ト云フノ修正ニナリマシテ、ソレニ御同意ガアッタシヤウニ考ヘマスガ、併シ原案トシテ御出シニナク時ニハ、必ズ國體ト云フモノハ斯ノ如キモノ、政體ト云フモノハ斯ノ如キモノト云フ御意見ガアツテ、無論御出シニナクモノデアリマシテ、決シテ二ツノモノデアツテ一ツノモノデナイト云フコトハ、是ハ御議論ノナカッタコトデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ國體ト云フコトニ付テハ、本會議ニ於テ先日內務大臣カラ一應ノ御答ガアリマシタノデアリマス、併シ此政體ト云フ方ニ付キマシテハ、ドウモ無カッタヤウニアリマス、速記録ヲ通讀イタシマシタガ、チヨット見當ラヌノデアリマス、ソコデ私ハ二ツノモノト致シマスレバ、此各ノ意味ノ御意見ヲドウ云フ風デアッタノカ伺ヒタイノデアリマス、ソレデ實ハ此御答ヲ伺ヒタ上デ、次ニ御問ヒ申スベキト思フノデアリマスガ、時問ヲ省略スル爲ニ續イテ伺ヒ置キマスガ、

何レニツ意味ノアツタモノトシマスレバ、修正ニ依ッテ「若ハ政體」ガ削ラレタト云フコトハ公知ノ事實デアリマス、執行官トシテ法ヲ執ル時ニ、若シ斯ウ云フコトガアッタラドウスルカト云フ考デアリマス、國體ハ今日ノ儘デ誠ニ結構デアアル、併シ政體ガ惡イ、之ヲ變革セネバナラヌト云フ意見ノ下ニ結社サレタト云フコトデアッタナラバ、是ハ國體ト云フコトニ觸レテ居ナイノデアアルカラ、不問ニ付スルヨリ外ナイ、斯ウ云フコトヲ言ッテ差支ナイカ、是ガ第一ノ問デアリマス、第二問ハ治安維持法ノ總體ヲ拜見イタシマスト云フト、此則法第二編第二章ノ即チ七十七條カラ八十條迄ノ規定ヲ直グニ想ヒ起サザルヲ得ナイ感ガアルノデアリマス、本案ヲ執行スルニ至リマシタナラバ、執行官ハ之ニ付テ必ズ迷ヲ起ス場合ガアルト私ハ思フノデアリマス、ソレハ刑法ト此案トヲ比較シテ見マスルト、政府ヲ顛覆ストカ朝廷ヲ紊亂スト云フ文字ト、ソレカラ今度ハ國體若ハ政體ヲ變革スト云フ關係ニナリマス、斯ウ云フ風ニ列ベタ所デハ一字モ同ジ字ハアリマセヌ、併シ其内容ヲ考ヘテ見マスルト、甚ダ紛ハシイト云フ感ジガアリマス、勿論刑法ノ第七十七條ト云フノト、本條ノ第一條トハ行動ノ方法ニ付テハ異ッテ居リマス、刑法ニハ明カニ「暴動ヲ爲シタル者」ト云フ字ガアリマス、本案ニハ「結社ヲ組織シタル者」トスアルノデアリマス、併ナガラ刑法第七十七條ノ罪ハ豫備又ハ隱蔽デモ十年以下ノ罪ニ當ルノデアリマス、即チ暴動ト云フ行爲ハ現實シナイデモ罪トナル特別犯罪デアリマス、故ニ事實

ヲ假定シテチヨット考ヘテ見タイト思フノデアリマス、例ヘバ右ノ如キ計畫ガアッタトシタナラバ、刑法ヲ適用スベキトセラレルカ、將タ本案ヲ適用セラルトスルカノ疑ガ生ズルト斯ウ思フノデアリマス、此例ト云フノハ例ヘバ此隱微ノ團體、秘密結社ト云ヒマスガ、其規約書ノ文ヲ見ルト云フト、我等ハ今日ノ如キ現政府ノ下ニアツテ到底我等ノ目的ヲ達スルコトガ出来ナイ、私有財産制度ヲ公然否認スル政府ヲ以テ之ニ代ヘナケレバナラヌ、我等ハ奮勵努力其實現ヲセザルベカラズ、我等ノ好ム所ニハアラザレドモ已ムヲ得ズンバ暴力ヲ以テシテモ之ヲ爲サザルベカラズ、斯ウ云フ規約書ヲ發見シタルスル、斯ウ云フ團體ガ有タトスル、斯ノ如キ規約ノ下ニ成立シタ團體ガアリトシタナラバ、刑法ヲ適用スルカ、本案ヲ適用スルカ、或人ハ答ヘマセウ、刑法第七十七條ノ罪ハ陰謀デモ罰スルノデアツテ、第七十八條ニ依ッテ之ヲ罰スル答デアアル、何故ナラバ乙政府ヲ立テムト欲セバ甲政府ヲ顛覆シナケレバナラヌ、故ニ政府顛覆ノ目的ヲ有シテ居ル、サウシテ暴力ヲ以テシテモ其目的ヲ達セムトスルモノデアアル、故ニ未ダ第七十七條ノ暴動ヲナシタルト云フ過去ノ事實ニハ當リマセヌケレドモ、七十八條ノ陰謀ニハ十分當ルモノデアアルカラ、斯ウ云フ人ガアルダラウト思ヒマス、又或人ハ本案ノ第一條ヲ以テ罰スベシト云フカモ知レヌト思フ、何故ナレバ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トスル結社ヲ組織シタモノデアアルカラデアアル、斯ウ云フコトモアル、本員ノ見ル所デハ、ドチ

ラモ直チニ是ハ間違タト云フコトハ言ヒ兼ねヤセヌカト思フ位デアリマス、然ルニ第二說ニ從ヒマスレバ、裁判所構成法ノ第二十七條ノ第一號ニ依リマシテ、地方裁判所ノ管轄ニ屬サナケレバナラヌ、サウシテ第一說ニ從ヘバ、同法第五十條即チ構成法第五十條ノ規定ニ依リマシテ、第一審ニシテ終審タル大審院ノ裁判ニ服セナケレバナラヌ、犯罪ノ取扱上ニ非常ナ差異ガアル、彼ト此トヲ斯ノ如キ紛ハシキ法律ヲ制定シテモ宜シキモノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、是ガ第二ノ疑デアリマス、第三ハ兎モ角モ本案ト内亂罪トノ規定ガ接近シテ居ルト云フコトハ是ハ疑ナイト思フ、殊ニ此委員會始マシテ初メテ拜見シマシタズト元ノ案ヲシウゴザイマスガ、ソレノ見ルト、ドウシテモ内亂トシカ思ヘナイ、シコデ陪審法案ハマダ施行ニナクテ居リマセヌケレドモ、此陪審法第四條ヲ讀ミ、マズルト云フト「左ニ掲クル罪ニ該ル事件ハ前二條ノ規定ニ拘ラス之ヲ陪審ノ評議ニ付セス、刑法第二編第一章乃至第四章及第八章ノ罪」斯ウアリマス、マダ外ニモゴザイマスガ、今關係ノアル所ダケヲ申上デマス、本員ハ陪審制度ト云フモノハ元來威服シテ居ラナイノデアリマスケレドモ、既ニ成立シタ以上ハ尊敬シナケレバナリマセヌ、本案ノ罪ハ内亂ト其性質ヲ殊ニ甚ダ同ジクシテ居ルト云フヤウナコトハ、今申上グタ通リデアアルニ拘ラズ、本案ニハ除外ノ規定ガゴザイマセヌ、故ニ本案ノ罪ヲ犯シタル者ハ、地方裁判所ノ管轄ニ屬シテ審議セラレルノデアラウト思ヒマス、其時被告人カラシテ

陪審立會ノ請求ガアツタ時ニハ、裁判所ハ是非トモ第三條ニ依テ陪審ノ評議ニ付セナケレバナラヌ、此事ハ少シモ疑ナシ、然ラバ其犯罪ノ性質ハ甚ダ相類シテ居ルニモ拘ラズ、一ハ陪審ノ評議ニ付スルコトヲ得ズ、一ハ付セザルコトヲ得ズ、非常ナ差ガアル、一體今度ノヤウナ犯罪ガ出來マシテ、陪審ニ掛ケルト云フコトハ、尙更以テハ甚ダ面白カラヌコトデアラウト思フノデアリマスガ、併シ若シ之ヲ明カニ書クナラバ、不信任ノ法律益、不信任ト云フヤウナコトノ評モアリマセウケレドモ、法律ヲ適用スル上ニ於テハ是程似テ居ルニ、片方ニハ付シ、片方ニハ付セヌト云フコトハ、權衡ヲ得テ居ラヌデヤナイカト斯ウ考ヘマスノデアリマス

○政府委員(山岡萬之助君) 國體ト政體トヲ提案ノ際ニ於テ區別イタシテ居リマシタコトハ、其通りデゴザイマス、國體ハ段々説明ガアリマシタルヤウニ、憲法ニ於キマスル萬世一系ノ天皇ニ依テ統治セラレ、統治權ノ行使ニ付テハ、天皇ニ於テ之ヲ總攬スル、斯ノ如キ我國ノ特有ノ歴史的事實關係ヲ、憲法ニ於テ明カニ致シテ居ル事柄ヲ指シマスル譯デアリマス、從テ政體ノ方ニナリマスルト云フト之ト異ニ致シマシテ、統治權ヲ行使イタシマスル所ノ形式デアリマス、即チ如何ナル機關ニ依テ統治權ヲ行使スルヤ、申上ゲルマデモナク今日ノ憲法デアリマスルト云フト、三權分立ト云フコトヲ前提ト致シマシテ、代議政體ヲ基礎ト致シタル立憲政治デアアルノデアリマス、仍テ提案ニ際シマシテハ、右申上ゲマスル國體ト而シテ立憲政體運用ノ根本デアリマスル所ノ代議制ト云フトヲ保護スルコトガ必要デアアル、斯様ナ意味ニ於キマシテ、國體政體ト云フ字ヲ第一條ニ表ハシタノデ

アリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ、其政體ト云フコトハ三權分立ヲ基礎トシテ代議政體ヲ立憲政治ノ根本トスルト云フコトハ分ルケレドモ、併ナガラ其三權分立ト云フコトノ關係ハ廣ク使テ政治ト云フコトヲ考ヘレバ皆入ルノデアアル、即チ司法行政府ト云フコトニ付テモ茲ニ加ハテ來ルト云フコトニ考ヘラレバハナシカ、斯ウ云フコトカラ段々質問モアリマシタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ政體ヲ變革スルト云フコトヲ結合シテ之ヲ解釋イタシマスレバ、即チ政體ノ根本ヲ破壞スルコトデアアル、政體ノ根本ト云フコトニナレバ、今日ノ立憲政治ハ代議制ヲ以テ根本ト致シテ居ルノデアアル、斯ウ云フコトカラ此政體ヲ變革スルト云フ結ビ付ケテ致シテ考ヘレバ左様ニ考ヘラレルト云フ説明ヲ致シタノデアリマス、ドウモ其點ニ於テハ此文字デ果シテサウ云フコトニナルカ否カ、ソレヨリモ廣クナタナラバ適用上ニ於テ甚ダ面白クナイ點ガアルト云フ所カラシテ之ヲ削除イタシタ譯デアリマス、サウ云フ次第デアリマスルカラシテ、代議制ヲ變革スルト云フコトハ、此意味カラ形式上ニ於テ第一條カラ無クナタテ來タ譯デアリマス、ソコデ唯今御質問ノアリマシタル問題ニ付テ、代議政體ヲ變革スル目的ヲ以テ結社ヲ組織シタ場合ニ於テハ不問ニ付ス、キヤ否ヤ、之ヲ申上ゲナケレバナラヌ譯デアリマス、其點ガ程度ノ問題ニ一ツナテ來ルダラウト思ヒマス、先ニ申上ゲマシタルヤウニ我が國體ハ天皇ニ於テ萬機ヲ總攬セララル、ト云フコトニナリマスノデアリマスカラ、立法權モ亦陛下ニ於テ之ヲ總攬セラレテ居ル譯デアリマス、唯併シ議會ト云フモノヲ經テ、議會ノ即チ協賛ヲ經テ立法權ヲ行使セラル、ト云フコトニナルノデアリマス、即チ憲法

ノ第四條ニ「統治權ヲ總攬シ、此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ」斯ウ云フ次第デアリマス、其本ハ即チ天皇ノ統治權ニ依テ總テ支配セラレテ居ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラシテ、若モ其結社ニシテ、斯ノ如キ意味、唯今申上ゲマシタル統治權ノ總攬ノ意味ノ抵觸スルモノデアリマスナラバ、國體ヲ變革スルト云フ意味ニ於テ本法ヲ以テ取締ルノデアリマス、ソレト異ナリマシテ統治權ヲ總攬スルト云フコトニ何等ノ關係ナク、唯單ニ此政體ヲ變更スルト云フ意味ニ止マリマスルナラバ、本法ニハ關係ナイノデアリマス、結局此第一條ノ前段ハ無政府主義ヲ取締ル爲ニ立法ノ基キガ成テ居ルノデアリマス、ソコデ無政府主義ヲ取締ルト云フノニハ、國體政體ト云フ字ヲ表ハシテ、政體ト云フ意味ハ代議政體デアルト云フ意味ニ於テ政府ハ取締ルデアラウ、斯ウ云フ趣旨デ立法セラレタノデアリマス、然ルニ右申上ゲマシタル事情ニ於テ政體ヲ削除シタル結果トシテ、唯今申上ゲマシタヤウナ解釋ニナルノデアリマス、ソコデ政府ニ於テハ無政府主義ヲ取締リマスニハ、唯今申上ゲマシタルヤウニ此統治權ヲ總攬スルト云フコトニ抵觸イタス關係ヲ取締レバ無政府主義ハ取締レルモノデアアル、斯様ニ考ヘマスル譯デアリマス、即チ無政府主義ハ申上ゲル迄モナク支配權カラ離レテシマフト云フノデアリマシテ、一際ノ支配權ヲ排斥シヤウト云フノデ、一部ノ法律關係ヲ、一部分ヲ排斥スルガ如キハ無政府主義デハナイノデアリマス、是ハ單純ノ過激ナル思想ニ過ギナイノデアリマス、無政府主義ニナリマス、各種ノ法律ヲ否定スルハ勿論、國權ヲ否定シ、總テノ支配權カラ離レヤウト云フ次第ニナルノデアリマシテ、無政府主義デアレバ必ズ統治

權ノ總攬ト云フコトニ抵觸シテ來ルノデアリマス、斯ウ云フコトデアツテ、國體ヲ變革スルト云フ意向ニ於テ無政府主義ノ取締ハ十分出來ルト云フ考カラ致シマシテ、國體ヲ變革スルヲ以テ提案ノ基礎ト致シマシタル目的ハ達シ得ラル、ガ故ニ形ノ上ニ於テ之ヲ改ムルニ付テハ異議ヲ唱ヘナカッタ譯ナノデアリマス、尙ホ唯今申上ゲマシタル、此行政權及司法權ヲ否認スルヤ否ヤト云フ議論ニ付テ、衆議院ニ於キマシテハ委員會ノ經過中ニ於テ之ヲ目的トシテ論議ハ深ク致サナカッタノデアリマス、其次第ハ最初政府ノ提案ニ於キマシテ政體ヲ變革スルト云フコトハ代議制ヲ變革スルコトデアアル、斯様ニ理由ヲ陳述イタシタアリマスルノデアリマス、唯途中ニ於テ其政體ト云フコトハ行政權司法權等ニ及ブヤ否ヤト云フコトノ僅ノ論ガアリマシタケレドモ、始終政府ニ於テハ代議制ヲ變革スルコトデアアル、斯様ナ意味デアリマシタノデアリマスガ、委員ノ方面ニ於テハ必ズ此字義ガ疑ガアルト云フコトデアツタト思フノデアリマス、是ダケ尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマス次ニ此刑法ノ第二編第二章ニ關スル御質問デゴザイマスガ、此點ニ付キマシテハ適用上ニ於テハ、是ハ勿論御質問ノアル通り相當説明ヲ要スル問題デゴザイマス、内亂トノ關係ニ付キマシテハ御説明ニアリマシタル通り、目的ニ於キマシテモ必シモ同ジコトデナイノデアリマシテ、刑法ノ七十七條ニ於キマシテハ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ、其他朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニナタテ居リマシテ、此目的ハ結局、朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニナルノデアリマス、此朝憲ヲ紊亂スルト云フコトハ、成文法、不文法ノ憲法ノ關係ヲ不法ニ崩壞スル、變更スルト云フ斯ウ云フコトデアリマシテ、憲法ノ

總テノ關係ヲ不法ニ變更スルト云フコトニナリマスノデアリマシテ、前二者ハ是ハ例示ニ止マリマスルコトハ、申上ダル迄モナイコトデアリマス、ソコデ本法ノ第一條ニ於キマスル團體變更ト云フ事柄ハ此朝憲紊亂ノ本當ノ重大ナル部分ニ止マリマスルノデ、之ヲ此七十七條ニ當テ特別ニ研究イタシマスルナラバ、勿論コノ政府ヲ顛覆スル以上ノ事柄ニナリマスルガ、茲ニ政府ヲ顛覆スルト申シマスレバ、總テノコノ政治組織ノ根本ヲ破壊スル、現實ノ政府、今日ノ政府ヲ變更シテ次ノ内閣ヲ組織シヤウト云フガ如キ事柄デハゴザイマセヌデ、政治組織ヲ變更スルト云フコトニナリマスル次第デゴザイマス、依ッテ是レ以上ノ事柄、即チ此本法ニ於キマスル所ノ、本法案ニ於キマスル所ノ團體ノ變更ヲスル、政府ノ顛覆ヨリハモト重イ意味デゴザイマス、政府顛覆ハ幅ガ可ナリ廣クアリマスル譯デアリマスガ、其中ノ最も重キ部分ガ即チ團體ノ變更ニナル譯デアリマス、左様ナ次第デアッテ此七十七條ト比較イタシマスルト、本法ノ團體ノ變更ト云フコトハ最も重要ナル一部ニ止マルデアリマス、ソレカラ私有權、私有財産ノ否認ト云フコトハ憲法ノ二十七條ヲ變更シナケレバ出來ナイ譯デアリマス、此二十七條ヲ變更スルト云フコトニナリマスレバ矢張り朝憲ノ紊亂ニナリマス、事コ、ニ及ビマスレバ朝憲ノ紊亂ト云フコトノ一部ニ矢張りナリマス、左様ナ次第デアリマスカラシテ、御説ニナリマシタ如ク七十七條ト此第一條トハ深イ關係ヲ持ツベキコトハ解釋上ニ於テ起ル次第デゴザイマス、唯其異ナリマスル所ハ御質問中ニ御説明ガアツタ通りニ、内亂罪ハ暴動ト云フコトヲ手段トセラレテ居リマスルシ、本案ノ變更ト云フコト若クハ否認ト云

フコトニナリマスナラバ、全ク斯ウ云フ暴動手段ト云フコトヲ要件ト致サヌデアリマス、其點ニ於テ質ヲ異ニ致シマスル次第デアリマス、ソコデ御例示ニナリマシタ所ノ秘密結社ヲ造リテ現政府ノ下ニ於テハ私有財産ヲ否認スル如キ特殊ノ改革ハ出來ナイ、新シイ政府ヲ造リテ私有財産ヲ否認シ、斯ノ如クスル爲ニ暴力ヲ敢テ辭シナイ、即チ暴力ニ依ッテ新シキ政府ヲ組織シテ行キタイ、斯ウ云フ秘密結社ガ出來タ場合ニ付テ、此場合ニ於キマシテ此暴力ヲ以テ朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニナリマスルカラシテ矢張り是ハ刑法ノ七十七條ノ關係ヨリシテ内亂罪ノ陰謀ニナリマスル譯デアリマス、而シテ又私有財産制度ヲ否認スルト云フ意味ヨリシテ本案第一條ニ低觸致スコトニナリマス、茲ニ於テ之ヲ解決シマスルノニハ即チ刑法ノ五十五條ニ於キマシテハ一個ノ行為ニシテ數個ノ罰條ニ觸レマスル場合ニ於テハ其重キモノニ從テ處斷スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、此場合ニ於キマシテハ刑法ノ七十八條ガ本案ヨリモ重クアリマスノデ、即チ一年以上十年以下ノ禁錮、斯ウ云フ關係ニナリマスルト云フト一年以上ト云フ關係ハ本案ヨリモ重クナッテ來ル、ソコデ刑法ノ五十五條ニ從ヒマシテ一ツ重キニ依ッテ處斷ヲ致シマス譯デアリマス、暴動ヲ目的トシタル政府顛覆ノ事柄ガアリマスレバ即チ内亂罪ノ陰謀ヲ以テ處斷スベキ事案デアリマス、デアリマスカラ大審院ニ於テ之ヲ管轄イタシテ裁判ヲ致スデアリマス、此場合ニ於キマシテ牽聯イタシテ離スコトノ出來ナイ普通罪ガアリマスレバ矢張り大審院ニ於テ裁判ヲ致ス譯デアリマス、斯様な場合ニ於キマスレバ大審院ニ於テ處斷ヲ致スコトニナラウト考ヘマス、其他此外ノ方法ニ

於キマシテモ、新聞紙法若クハ治安警察法出版法等一行爲ニ法文ニ低觸スル場合ガ時ニアリマス、サウ云フ場合ニハ矢張り一ツノ重キニ從ッテ處斷ヲ致スベキ事柄デ、適用上ニ於キマシテハ差支ヲ生ジナイ譯デアリマス、次ニ内亂罪ト接近イタシテ居ル罪デアリマス、併シ内亂罪トハ餘程質ガ違フデアリマス、内亂罪ハ七十七條ニ於キマシテ朝憲紊亂及朝憲ヲ保護スル所ノ官憲ヲ直接ニ攻撃スル譯デアリマス、即チ暴動ヲ以テスル其事自體ガ既ニモウ朝憲紊亂デアル、政府ヲ顛覆スルト云フコト自體ヲ企テルデアリマス、七十七條ノ内亂ノ基礎デアリマス、公益ヲ直接ニ破壊スルト云フ關係ガ内亂罪デアリマス、七十八條其他ニ於テ準備行為ヲ罰シテ居リマスルケレドモ、是ハ寧ろ附屬物デアリマス、附屬物デアリマスルカラシテ是等ノコトハ一體申スト云フト大審院ノ管轄ニ屬セシムル必要モナイ、又其以外ノ刑罰ニ付シテモ總テ別ナ考、別ナ頭ヲ以テ法ヲ立テマシテモ差支ナイ譯デアリマスルケレドモ、七十七條ト云フ直接公益ヲ侵害スル罪ヲ基本ニ致シテ居リマシテ、ソレノ附屬トシテ豫備運動ヲ規定シテアリマスガ、然ルニ本法ニ於キマスル所ノモノハ全然サウ云フモノデアリマヌセノデ、公益ト云フモノハズツ其與ニ置イテ、ソコマデ到達スル所ノ方法ヲ一ツ遮斷シヤウト云フデアリマスカラ公益ヲ直接ニ害スルコトハ甚ダ縁ガ遠イデアリマス、此行爲ハ即チサウ云フ事ノ目的ニ於テ結社ヲスル、ソレカラ協議ヲスル、煽動ヲスル、斯ウ云フ次第デ、是ガ即チ此本案ノ罪ノ本體デアリマスルカラシテ、内亂罪トハ甚シク公益ト直接間接ニ於テ同日ノ論デナイ次第デアリマス、是デアリマスカラシテ本案ニ於テ

ル罪ト内亂罪トハ其取扱ヲ異ニシテ然ルベキモノデアルト政府ニ於テハ考ヘテ居ルデアリマス、カルガ故ニ此陪審問題ニ付キマシテモ内亂罪トハ同一ニ考ヘテ居ラヌ次第デアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ダテ置キタイノデアリマスルガ、斯カル此關係ニ付キマシテ外國ノ立法例モ矢張り陪審ニ付スル付セナイニ付テハ色々ニナッテ居ルノデアリマシテ、英國ノ如キハ御承知ノ通りニ略式手續ノ外ハ悉ク陪審ニ付シマスルカラ勿論此程度ノ犯罪デアリマスレバ陪審ニ付スルコトニナリマスガ、是ハ固ヨリ陪審制度ノ根本ガ違ヒマスカラシテ、大陸ニ於キマシテ重罪ダケ陪審ニ付シマスル所ニ於テモ出版法其他ノ政治的犯罪ニ對シテ奧地利ノ如キハ陪審ニ付シテ居リマス、佛蘭西ニ於テモ陪審ニ付シテ居リマス、獨逸ニ於テハ全部ヲ陪審ニ付スルト云フコトニナラヌノデ一部ダケノコトデアリマス、サウ云フ次第デ各國ニ於テ矢張り其事柄ヲ異ニシ、立法例ヲ別ニ致シテ居リマス、唯今問題ニナリマシタモノニ付キマシテハ先ニ申上ダタヤウナ罪質ノ違ヒカラ致シマシテ内亂罪ノ如ク陪審ニ付スルト云フコトニ致シテナイノデアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○男爵福原俊九君 逐條審議ニマダ御這入リニナラヌト思ヒマスルガ、今丁度私有財産制度ノコトガ問題ニナリマシタカラ...

○委員長(公爵一條厚基君) 實ハ箇條ガ少イノデスカラ逐條ニシテモシナクテモドラデモ宜シイト思ヒマスガ...

○男爵福原俊九君 サウスレバ此際關係スルコトデヲ御尋ネシテ置キタイ、私ハ私有財産ノ制度ニ付テ何ッテ置キタイノデスガ、丁度司法大臣ハ殊ニ此道德...國家道德、精神的ノ方面ノコトニ御造詣ノアル方デアリマスカラ此際極ク簡單ニ伺ッ

テ置クコトガ必要ダト思ヒマス、所有權……詰リ私ノ御尋ネスルノハ所有權ニ對スル觀念、是ガ即チ私有財産制度ヲ否認云々ノ此箇條ノ矢張り本ニナル、ソレデ先達テ第一回ノ時ニ矢張り渡邊サンカラ御尋ガアツタ治安維持法ト同時ニ、何等カ積極的ニ國家ノ治安ヲ維持シテ行ク何等カノ方法ヲ採ラレル、即チ思想ノ惡化シテ行クノヲ善導シテ行ク何等カノ積極的ノコトヲサレルカト云フ質問ガアツタノデアリマス、其處ニ私ハ這入ルノデアリマス、即チ私ハ國民ノ思想ヲ善導スル其具體的ノコトトシテハ所謂結局ハ所有權ニ對スル觀念デアル、所有權ニ對スル觀念ヲ進步サシテ行クト云フコトハ是ガ國家ヲ、或ハ國家ノ進運、文明ニ導イテ行ク道行デアリ、又其處カラシテ國民道德ノ基礎ガ出テ來ル、斯ウ云フヤウニ考ヘル、即チ何等カ斯ウ云フ詰リ總テノ物ガ自分ノ物デアル、斯ウ所有權……所有ト云フコトニ對シテ強イ觀念ヲ持シテ極端ニソレヲ維持スレバ其處ニ色シナ争ガ出テ來ル、今日私共殊ニ政治界ニ立ッテ政治道德ノ壞類シテ居ルノヲ如何ニシテ良クシヤウカト云フ點モ矢張り私ハ所有權ト云フモノニ對スル觀念ヲ進步サシテ行ク、即チ或場合ニ於テハ自分ガ所有シテ居ルノハ是ハ國民ノ爲ニ所有シテ居ルンダ、決シテ自分ノ爲ニ所有シテ居ルノデナイ、此觀念ガ十分自覺サレ、バ其觀念カラ起ッテ來ル行動ト云フモノハ國民自身ガ公益ヲ進メルヤウニナルダラウト思ヒマス、殊ニ私ハ其點ニ對シテハ宗教ト云フモノガ最も必要デアル、殊ニ其宗教ニ於テハ東洋ノ宗教即チ大乘佛教ノ此解釋、教ヘ、是ハ非常ニ最も適切デアルト思フ、即チ大乘佛教ニ於テハ所有ト云フモノハ認メナイデ保管ト云フコトヲ認メル、總テノ物ハ即チ國民國家ノ爲ニ所謂

佛語デ云ヘバ衆生ノ爲ニ保管スルト云フコトガ即チ本ニナッテ、從テソレカラシテ義勇公ニ奉ズルト云フ觀念ガ起ル、即チ國民ガ陛下ノ爲ニ身命ヲ抛ツ、喜ンデ身命ヲ抛ツ、即チ一體考ヘレバ自分ノ生命ト云フモノハ自分ノモノデアアル、自身ニ屬シテ居ルモノデアアル、ソレヲ日本國民トシテ矢張り陛下ノ爲ニ我ハ生キテ居ル、我ハ自分ノモノデハナイ、陛下ノモノダト云フ其所有權ノ觀念カラ、サウシテ喜ンデ困難ニ殉ズルト云フコトニナル、併ナガラ唯一ナイト云フヤウナコトニナルトイケマセステレドモ、サウ云フ根本觀念ニ、十分所有ト云フ觀念ヲ自覺サセ、眞ノ所有ト云フモノニ對スル自覺ヲサセルト云フコトガ是ガ私ハ國家ノ國民ノ道德ヲ進歩サセ、即チ治安ヲ維持シテ、治安ヲ紊サヤウナ者ヲ段々無クシテ行ク思想ヲ善導スル本ニナルダラウト思フ、ソコデ私有財産制度ノ否認ト云フコトニ移ッテ來ルノデアリマスガ、モウ少シ言ヒマスガ、ソレデアルカラ此私有財産制度ト云フモノハ是ハ法律決マッテ居ル以上ハ、是ハ否認スルコトハ出來ナイケレドモ、併ナガラ段々國民ノ所有ニ對スル觀念ヲ進化サセテ行ッテ、サウシテ現在ノ私有財産制度ニ於テ段々改善シテ行クト云フコトハ、是ハ起ッテ來ヌケレバナラヌト思フ、サウ云フ點ニ對シテ餘リ長クナリマスカラシテ、モウ司法大臣トシテモ寸分サウ云フ基礎觀念ガ御有リノコトデスカラ、所有ト云フコトニ對シテ國民ノ所有觀念ヲシテ段々進化サセテ行クト云フコトニ付テ種々合法的ナ即チ宗教的ノ團體力或ハ個人ガ宗教的運動ヲ以テ國民ノ精神ヲ進歩サシ自覺サシテ行クト云フコトニ於テセラレルコトヲ、此治安維持法ニ依ッテ其處マ

デ擴張シテヤラレルヤウナ場合ハ起ラヌモノデアリマスガ、ソコニナルト、第三條、第一條第一項ノ目的ヲ以テ此事項ノ實行ヲ煽動シタル者ニ向ッテハ是モ國民ノ全體ノ所有權ニ對スル觀念ヲ自覺セシメルト云フコトニ於テ所謂宗教的運動ト云フコトハ惡イノデスカ、宗教的ニ國民ヲ教化シテ行ク、其場合ニ丁度偶々何等カノ或事件ガアッテ其人達ニサウ云フ所有權ニ對スル話ヲシテデスネ、ソレガ益、其人達ノ自信ヲ強メルト云フ場合ガアツタ場合ニ、ソレガ善導ノ中ニ這入ルカ、大變言葉ガ足リマセヌカラシテ或ハ誤解ガアルカモ知レマセヌガ、長ク申シマス時間ヲ取りマスカラ簡單ニ其點ニ對スル司法大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ、尙ホ所有權、私ノ所有權ト云フモノニ對スル……私ハ今大乘佛教ニ説イテアル其所有權ト云フモノニ對スル考ガ寧ろ國民ヲ教化シテ行キ、此國民ノ道德心ヲ改善シテ行クト云フ上ニ於テ最も適當ノモノデアルト思ヒマス、即チ一例ヲ申シマスレバ是ハ少シ此問題カラ離レテ居リマスガ、唯私ノ申スコトガ不十分デ御了解ガイカナイトイケマセヌカラ……即チ人ノ物ヲ盜ムヨリモ無主物、詰リ其所有スル者ノ無イ物ヲ盜ム方ガ罪惡觀念デアアル、人ノ物ヲ盜ムバ勿論法律ニ觸レルカラ、ソレハ非常ニ惡イ、併ナガラ誰ノ所有ニモ屬シナイモノヲ盜ムト云フコトハ是ハ法律デハイカナイガ、其方ガ罪惡デアアル、ト云フ觀念デナケレバナラヌ、即チ例ヘテ言ヘバ子供ナリ我ニガ野ニ行シテ野ノ花ヲ採ル、即チ野ノ花ト云フモノハ誰ノ所有デモナイ、ソレヲ詰リ家ヘ持ッテ歸ッテ花ヲ活ケル、或ハ人ニ贈ルトカ何カスル、有效ニ使フ爲ニソレヲ採ッテ來ルナラ宜シイケレドモ、唯無意識ニ子供ノヤリマスヤウニ花ヲチギッテ、我ニモ能クヤリ

マスガ、サウシテ棄テシマフ、即チ無主物ヲ盜ムト云フコトハ非常ニ罪惡デ、此觀念ガ一番本デアルト思フ、モウ一ツ進メテ言ヘバ、我ニガ呼吸シテ居ル空氣ト云フモノハ何モ誰ノ所有デモナイ、併ナガラ今日我ニガ空氣ヲ吸ウテ生キテ居ル、此空氣ヲ吸ウテ生キテ居ルノハ自分ガ何等カ國家ノ爲ニ有效ニ働イテ生キテ居ルカラ宜シイケレドモ、國家ノ爲ニ有效デナイ何等意義ナシデ以テ此空氣ヲ盜ンデ居ル、其盜ムト云フコトハ非常ニ罪惡デアアル、我ニガ生キテ居ルト云フノハ即チ國家社會ノ爲ニ盡ス目的ヲ各、其分ニ於テ努力スル爲ニ生キテ居ル、努力シナケレバ決シテ生キテ居ル效ガナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ所有權ト云フモノニ對スル根本觀念ヲ國民ニ十分入レル、サウ云フコトヲ了解サセル、是ガ即チ更ニ宗教家ノ國民ヲ教化シテ行ク最も大切ナ一番本デアルド實ハ信ジテ居リマスガ、今申シマシタコトハ直接之ニ關係アリマセヌケレドモ、私ノ質問ガ餘リ簡單デ、ソコニ誤解ガアリマシテハイケナイカラ、附加ヘテ置キマス、サウ云フ意味ニ於テ此點ニ付テ極ク簡單ニ伺ヒテ見タイ

○國務大臣(小川平吉君) 唯今ノ結論トシテノ唯今福原男爵ノ御述ベニナッヤウナ事柄ガ此法條ニ觸レルカ觸レナイカト申セバ、無論觸レナイト云フコトヲ先ツ結論トシテ御答ヘ申シマシテ、尙ホ多少私ガ附加ヘテ置キタイト申シマスルノハ、唯今ノ福原男爵ノ御説ハ誠ニ謹ンデ傾聴イタシマシタ、此佛教ニアル如ク自分ノ取ルベカラザルモノハ取ラナイト云フ此思想ハ實ニ最も巧妙深遠ナル一ツノ道德ノ原則ト考ヘテ居リマス、又今日ハ佛教ニ四恩トカ云ウテ父母ノ恩、國土ノ恩、ト云フヤウナコトヲ承ハッテ居リマス、サウ云フヤウナ道德ノコ

トガ基本ニナッテ居リマスレバ、此法條デ
罰スル罰セドコロデハナイ、根本的ニ斯
ウ云フ犯罪ガ止ムグラウト私ハ考ヘテ居
ル、佛教ノ日本ニ段々ト弘ガッタ爲ニ巧妙
深遠ナルモノモゴザイマシタラウガ、隨分
卑近ナ教ヘト云フモノガ御維新前マデ非常
ニ日本人ヲ感化シ、儒教ノ方デモ亦私ハ自
分ノ利益ト云フモノヲ主トセズシテ、サウ
シテ他人ノ感情思想ト調和シテ行クト云フ
所ノ即チ仁義ト云フ教ト云フモノガ矢張り
民間ニ弘ガッテ参リ、是ガ亦日本ノ國體ニ
モ能ク合致シテ居リマシタ爲ニ、實ニ精神
界ニ於テハ日本人ハ、私自身ハ少クトモ世
界萬國ニ類ノ無イト信ジテ居リマス、尤モ
産業狀態、經濟界ノ模樣等モ違ッテ居リマ
シタラウガ、今日ニナッテモマデ是ガ根本
ニ於テ崩レテ居リハシマイト考ヘテ居ル、
併ナガラ御維新以來總テノ方面ニ、殊ニ教
育ガ全ク歐米ノ模倣ヲシタ爲ニ精神界デ申
シマスレバ利己主義、個人主義、即チ利益
トカ云フ思想バカリ弘ガッテ参リ、サウシ
テ今福原男爵ノ御述ベニナッテ所ト反對ニ、
取ルベカラザラドコロデヤナイ、何デモ自
分ノ利益、自分ノ權利、其權利ト云フモノ
ハ法律ト云フモノガ後ロニアッテ保護ヲシ
テ行ク、權利ノ思想ガ發達シテ來タカラ、
何處マデモ誅求シテ自分ノ力ヲ逞シクシ
テ行ク、ソコヘ丁度産業革命ガ起ッテ機械ノ
力ガ發達シ、交通ガ發達シ、併セテ力ガド
コマデモ延ビムトシテ居ル、是ハドウシテ
モ歐羅巴デハ無政府主義ガ起ルノハ當然ザ
ヤナカラウカ、廣イ意味ニ於テ又共產主義
ガ起ラザラ得ナイカト思フ、ソレデア
カラ刑罰ハ固ヨリ一時ノコトデアリマス
ケレドモ、根本ニ行ケバ元ノ所ヘ立歸ッテ
精神界ノ方面ニマデ改良シテ行カナケレバ
私ハイカスト思フ、歐羅巴アタリデ御承知

ノ通り如何ニモ個人主義、權力、カノ主義
ノ弊害ニ懲リテ大戦争ノ結果、非常ニ民族
主義ガ旺盛ニナッテ、即チ自己一人ノ勝手
デ行ッテハイカヌ、大勢一絡ニナッテ、他人
ノ利益ヲ尊重シテ協同シナケレバナラヌト
云フ民族主義ガ旺盛ニナッテ所以グラウ
ト思フ、又個人主義ヨリ團體思想、團體
ナケレバドウシテモイカヌト云フコト、即
チ自分一人ノ勝手デハイカヌト云フコト
ガ、段々分ッテ來タコトデ、サウ云フ風ニ
ナッテノデヤナイカト思フ、ソレデドウシ
テモ、ソコノ所ヘ持ッテ行ッテ、本ヲ正シテ
行キマセヌケレバ、ナカ一經濟ノ變遷、
科學ノ進歩、交通ノ便利、出版ノ自由ト云
フヤウナコトニ總テノ力ノ競争ガ限リナク
行ッテ、力ガ幾ラ擴ガッテ行ッテモ人類一般
ノ幸福ト云フモノニハ相成ラヌト思フ、此
カト云フモノガ皆横道ニ利用サレテ居リマ
スカラ、幾ラ爭ッテモイカヌト思フ、同盟
罷業ノ如キモノデモ其通りデアラウト思
フ、ドウカ是ハ一ツ其處ヘ力ヲ入レテヤ
テ行キタイ、從テ先般當委員會ニ於テモ文
部大臣ニ御質問ニナッテコトハ私ハ最も喜
シダ、文部大臣ノ言ハレル通り教育ト云フ
コトハ極ク大切デアラウト思フガ、教育ノ
方針ト云フモノガ先達テ衆議院ニ建議案ガ
出タノデアリマスガ、今日マデ……ト云フ
ト少シ語弊ガアルカ知レマセヌガ、總テヲ
注意シテ人格ヲ完成スル道德ト云フ所ニ重
キヲ置カヌト、科學ノ進歩ガ益進ンデ來ル
ニ從ッテ、益々人類ハ不幸ニナリハシナイカ
ト思ッテ居ル、而シテ學校ノ教育バカリデ
ハ到底間ニ合ヒマセヌカラ、所謂社會教育
ニ、文部省等ニ於テモ近來段々社會教育ノ
方面ニ經費モ段々増加シ要求シテ力ヲ入レ
テ居ルノデアアル、政府トシテハ先ヅ矢張り
學校ノ教育社會教育、之ニ力ヲ入レルコト

ハ當然ナコトデアラウト思ヒマスケレド
モ、併ナガラ是バカリデナク總テノ勅令ノ
ヤウナモノデモ或ハ一般ニ官吏ノ矯正ヲス
ルニ付テモ、ドウモ長イ間此點ガ閉却サレ
テ居ッタ爲ニ、例ヘバ官吏ヲ登用スルニ付
テモ學校カラ卒業シタ點數ガ九十點ダトカ
百點ダトカ點數バカリニテ、一向人格ナ
ゾヲ見ズニ採ルト云フヤウデアアル、サウシ
テヤッテ行ケバ終ヒニハ農商務省ノ奏任官
ノ法學士ガ強盜ヲスルト云フヤウナコトモ
出ルデアラウト思フ、是ハ單リ教育バカリデ
ナク、政府トシテ、政府ガ何ヲスルニ付テ
モ、一ツノ法律ヲ作ルニ付テモ、ドウシテ
モ之ヲ考ヘテ行カナケレバ、ナカ一一局
部ノ人デハヤリ切レヌト思フ、無論國民ト
云フモノノ全般ガ茲ニ力ヲ持ッテ行カナケ
レバナラヌデアラウト思フノデアリマス、是
等ノ事情ガ畏レ多クモ一昨年ノ即チ國民精
神作興ノ御詔勅トナッテハ是デアラウト思
フ、是ハ非常ニ廣イ問題デ、是ガ日本ハ幸
ヒ今日マデ此立派ナ國デアッタカラ、世界
ニ接觸シタ時ニ餘程素レカケテハ居リマシ
タガ、立テ直スカ直サヌカ、是ハ今日現代
ノアナタ方ト私共ノ責任ダト思フ、外ノ事
ハ取換ヘガツキマスカラ宜シイガ、精神ノ
事ハ腐ッテシマッタラ取返シガツカヌ、此法
律ヲ出スニ付キマシテ、幸ニ衆議院ニ於テ
モ貴族院ニ於テモ、此根本ヲドウスルカト
云フ御問ガ屢、アッタ、私ハ此御問ヲ喜ン
デ居ッタ、甚ダ微力デアアルケレドモ、自分
トシテハ内閣ニ居ル以上、此方面ニ於テハ
此點ニ努力シタイト考ヘテ居リマス、幸
場合デアリマスカラ一言申述ベテ置キマス
○男爵福原俊九君 司法大臣ノ御答辯デ誠
ニ我ミト御同感デアルト云フコトデ、私ハ
非常ニ満足デアリマス、モウ一ツ此今日御
承知ノ通りニ左傾倒、ソレニ對スル反動團

體ガ起ッテ、隨分普選問題ニシテモ反目、兩
方相反スル團體ガ、相當暴力ヲ以テ威嚇スル
ト云フヤウナ狀態、デ此條文ヲ見マスと云
フト、即チ團體ヲ變革シ、又ハ私有財産制
度ヲ否認セザル目的ニ依ッテ暴力團ハ、是
ハコレデハ別ニ……中ニハアリマセヌガ、
是ハ無論外ノ法律デ以テ取締ルコトグラウ
ト思フガ、併ナガラ近來ノ治安ノ情況ヲ見
テモ、ドウモ少シ反動團體ノ所謂暴力ヲ利
用スルコトガ甚シクナッタヤウデゴザイマ
スガ、即チ其目的ノ如何ニ拘ラズ、暴力ヲ
以テ種々ナ事ヲヤル、ソレニ對シテハ十分
此治安維持法ニ於テ何等カ規定シナクテモ、
今日ノ狀態デ十分取締ルコトガ出來ル譯デ
アリマスガ、此點ヲ一ツ伺ッテ見タイ
○國務大臣(小川平吉君) 近頃御説ノ通り
大分暴力ガ政治問題ニモ這入ッテ來マシタ
ガ、誠ニドウモ遺憾千萬デアルト考ヘテ居
リマス、是ハ内務省ニ於テモ出來ルダケ取
締モ致シマスシ、又事件ガ起リマシタ以上
ハ、其事件ニ依ッテ司法當局者トシテハ十
分ニ嚴重ナル取締ヲスル考デアリマス、實
ニ遺憾ナコトデアリマスガ、併ナガラ是ハ
現行ノ法規ニ於テハ十分ニ當局者ガ意ヲ用
キテヤリマシタナラバ、取締ルコトガ出來
ヤウト考ヘマス、實ニ亂暴デ甚ダ困ッタク
トデアリマス、併ナガラ此反動團體ナルモ
ノハ、無政府主義共產主義等ニ比ベマス
ト、全ク性質ガ違ッタモノデアリマシテ、
今日ノ法規デモ、此亂暴スルコトニ對シテ
十分ナ豫防ハ出來ル、又出來タ以上ハ嚴重
ナ處分ヲスル、斯ウ云フ考デアリマス、必
ズヤルコトガ出來ルト今日ハ考ヘテ居リマ
ス
○子爵大河内輝排君 私ハチヨット速記ヲ
止メテ戴キタイ……
○委員長(公卿一條厚基君) 速記中止

〔速記中止〕

○委員長(公爵二條厚基君) 速記ヲ附ケテ

○岡喜七郎君 先程司法大臣ノ宣傳ノコトニ付テノ御話ハ、御意思ハヨク諒承イタシテ居リマス、私共ハ宣傳ト煽動ト云フコトノ事實上ノ區別ヲ取扱フト云フコトハ非常ニムツカシイコトデアラウト思フノデアリマス、又取締ノ局ニ居ラレル人カラ見マスレバ是程御困難サレルコトハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、出來ルコトナラバ宣傳ト云フコトマデ何カ狭イ意義ヲ付ケテ、此法案ニ規定サレタナラバ尙ホ結構デハナイカト考ヘルノデアリマスケレドモ、既ニ斯ウ云フ御立法ニナリシテ居ルノデアリマスカラシテ、今更修正ト云フコトモ難儀ナコトデアラウト考ヘマスカラ、サウ云フコトハ申上ゲマセヌ、唯司法大臣ノ御意思ノ在ル所ト、實際上、司法官ノサウ云フ犯罪ニ向ッテ處置スル所ニ、少シ實際ニ於テハ今日マデハ相違シテ居ル點ガアリハセヌカト考ヘテ居ルノデアリマス、唯今司法大臣ハ成ルベク嚴重ニ司法官ニ於テ之ヲ處斷シタイト云フ御言葉デアリマシタガ、殊ニ深刻ナル裁判ヲスルト云フコトヲ私共ハ何モ望ムノデアリマセヌガ、今日マデノ事實ニ徴スルト云フト、兎角斯ウ云フ風ナ犯罪ガ頗ル輕イ處斷ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ言葉ノ使ヒヤウデヤ甚ダ相濟マヌコトデアルカ知レマセヌガ、是ハ司法官諸君モ世ノ何ト云ヒマスカ、議論ト云ヒマスカ、新聞社等ノ議論ナド幾ラカ顧ミラレルヤウナコトデモ有ルノデハナイカト云フ私ハ疑ヲ持ツノデアリマス、モチット嚴重ナル處斷ガアツテモ然ルベキデハナイカト思フヤウナ事情ノ下ニ、往々其判決ヲ見ルト極メテ輕少ナル判決ニナッテハ居ナイカ、ソコデ取締

ヲシテ行クモノト司法官トノ間ニドウモシツクリ斯ウ云フ犯罪ニ向ッテノ處置ガ届カヌノデハナイカト云フコトノ豫テ多少ノ憂ヲ持ッテ居ルノデアリマス、過日懇談會ト申シマスカ、秘密會ノ節ニ、政府委員カラ此治安維持令ニ對スル茲ニ掲ゲテ居ラレマス御處分ノ何ヲ聽イテ居リマスガ、勿論多クハ目下審理中ニ屬シテ居ルヤウデアリマスカラ其結果ハ分リマセヌガ、或ル一二項デアリマシタガ、其人格等ヲ信用シテ云々ト云フ御話モアリマシタガ、斯ウ云フ主義ヲ或ハ宣傳スルト云ヒマスガ、宣傳スルト云フヤウナ者ニハ比較的知識ノアル者ガアラウト思フノデアリマスカラ、個人カラ云フト相當知識モアリ頭腦ノアル者デアルカラ、既ニ悔悟ノ情モ明カニナッテ居ルカラ、斯ウ云フ風ニ處シタト云フコトニナリマセウケレドモ、ソレデハ斯ウ云フ犯罪ヲ處斷スルト云フ目的ニ甚ダ適ハヌノデハナイカト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ司法官諸君ヲ云々スルノデハアリマセヌガ、兎角サウ云フ嫌ヒガアルヤウニ私共ハ見マスルガ、今日司法大臣ハドウ御覽ニナッテ居ルカ、又將來ドウ云フ御覺悟デアルカ、今一應承ハッテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ茲ニ文部大臣ガ居ラレマセヌデアリマスケレドモ、先達テ秘密會ノ時ニ大臣ノ御意向ハ能ク承知イタシマシタガ、私ハモウ社會主義ヲ研究スルト云フコトニ付テ決シテ彼レ此レ言フノデハアリマセヌ、茲ニ掲ゲラレテ居ル即チ無政府主義共產主義ト云フヤウナ、極端ナ主義ノ研究ヲ自由ニ致シ、其研究ヲ發表スルト云フコトハ、ドウモ或ハ學制ノ上ト云フカ、法律ノ上ト云フカ、何トカ云フモノデハ之ヲ止メル方法モナイカモ知レマセヌケレドモ、政府トシテ苟モ國家ノ治安ヲ懸念サレテ居ル

ナラバ、何等カノ方法ニ於テ斯ウ云フコトハモウチット制限ヲサレベキモノデハナイカト思フノデアリマス、衆議院ノ委員會デ誰方ノ何デアッタカ、國體ハ絕對ノモノデアルト云フ御説明ニナッテ居リマスガ、既ニ我ガ日本帝國ノ國體ハ絕對ノモノデアルトスルナラバ、之ヲ百万年後デアラウガ、十萬年後デアラウガ、斯ウ云フ安樂ナ世界ヲ生ジタナラバ宜カラウト云フヤウナコトヲ研究スルコト自身ガ、私ハ甚ダ不都合ナコトデナイカト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、其邊ハ何カ相當ナ嚴重ナル一ツ御考慮ガ無イト、官立帝國大學ニ於テスラモ、色ニナ從來其教師等ニ甚シイ主義ヲ有ッタ人モアツタヤウデアリマス、私立大學ニ於テハ尙更ノコトデアラウカト思ヒマスルガ、非常ナ今日此間モ御話ガアツタ通り、日露協商ノ出來タ結果ハ、私共ハ多數ノ個人ノ所謂露西亞人ト云フ者ガ入國シテ宣傳等ニ努メルト云フコトハ、是ハ明カナコトデアラウト思フノデアリマス、其際ニ於テ高等學校等ニ於テ公然斯ウ云フ極端ナル主義ヲ研究シ、或ハ發表スルト云フヤウナコトガ出來ルト云フコトニナルト、實ニ寒心ニ堪ヘナイ思ヒヲ致スノデアリマス、其邊ニ付キマシテモ政府ハ此法案ガ實施サレテドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスルカ、大要ヲ承ハッテ置キタイト思フノデアリマス

○國務大臣(小川平吉君) 第一ノ方ハ此法律ヲ實行スル場合ニ於ケル所ノ事柄ニ付テ岡君ガ御述ベニナリマシタガ、大體私モ岡君ト同ジヤウナ感ジヲ有ッテ居リマスノデアリマス、今日マデノ此刑ノ適用ニ付テノコトハ別段茲ニ申上ゲマセヌガ、裁判官デモ、今日隨分世ノ中ニハ一種ノ氣分ガアリマスノデ、何カ嚴罰ニデモ處スルコトガ宜クナイト云フヤウナ心得ヲスル者ガアツテハ相成ラヌト考ヘテ居リマス、本法ガ發布ニナリマシテ、之ヲ適用スル場合ニハ實ニ恐ルベキ犯罪ノ蔓延スルコトヲ防ガウト云フノデアリマスカラ、極メテ嚴肅ニ是ハ適用シヤウト考ヘル、苟モ不謹慎ナル新聞ノ論調デアリ、一部ノ無責任ナル輩ノ言論等ニ動カサレテ、刑ヲ輕クスルト云フヤウナ一部ノ世俗ノ間違ッタ考ニ媚ビルト云フコトハ嚴重ニ戒メテ行カウト考ヘテ居リマス、ドウモ動モスルト岡君ノ御意見ノ如ク、サウ云フヤウナ傾キガアルカト思フヤウナ感ジモスルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ十分ニ注意シテヤラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ學校ノコトデアリマスカ、先達テ文部大臣カラモ申上ゲタヤウナ次第デ、高等學校ニ於ケル研究團體ト云フモノガナカ(恐ルベキモノニ終ヒニハナリハセヌカト云フノデ、斷然解散ヲサレタコトハ御承知ノ通り、而シテ其帝國大學ハ勿論デアリマスルガ、私立學校ノ方アタリニモ矢張り十分ニドウモ手ヲ延バシテヤラナケレバナラヌカト云フヤウナ懸念ノアル所モアリマス、先達テ文部大臣カラモ此處デ申上ゲタヤウナ次第デ、此點ニ付テハ息ラズ其研究ヲ致シテ居リマス、御質問ノ御趣意ノ在ル所ハ能ク分リマシタ我々モ全ク此點ニ付テ同ジヤウナ心配ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、今後モ出來ルダゲノ盡力ヲシタイト考ヘル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 チョット内務省ノ方ガ御出席ニナリマシタカラ此機會ヲ利用シテ御尋ヲ致シタイ、チョット速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(公爵二條厚基君) 速記中止

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ引續

イテ午後一時半カラ開會イタシマス
午後零時二分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(公衛一條厚基君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○男爵大井成元君 私が承ハリタイノハ、前回本法ニ關聯イタシマシテ、軍隊ニ對スル宣傳、進ンデハ煽動ト云フヤウナ事例ノ顯著ナルモノハアルカ無イカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒマシタ所、顯著ナルモノハナイガ、宣傳ハ可ナリ澤山アル、我國ノ狀態ニ於キマシテ、顯著ナルモノハ今日ナイト云フコトヲ聞キマシテ非常ニ悦ビマスルガ、私が愚考イタシマスルノニ、本法第一條ニ於テ、例ハバ國體ヲ變革スル目的ヲ以テ、結社ヲ組織スルトカ云フヤウナ者ニ取締ヲ加ヘルコトヲ決メラレテ居リマスガ、國體ヲ變更スルコト云フコトニ付テハ、ドウ云フ手段方法ガ伴フカト云フコトヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、國體ヲ變更スルガ如キハ、殆ド此平和の二國體ガ變更サレルト云フヤウナコトハ、殆ド考ヘ得ラレヌコトデハナイカト思フノデアリマス、或ハ又古今ノ歴史ヲ能ク調ヘマズレバ、ソレニ該當スルモノガアルカモ知レマセヌガ、例ヘバ先年支那ニ於テ行ハレマシタ、清朝ノ顛覆ヲシテ、共和國ヲ制定シタ如キモノデモ、必シモ是ハ平和の二政體ノ……國體ノ變更ヲシタト云フ譯デモナイカト思フノデアリマスガ、近ク又歐洲大戰中ニ、獨逸、露西亞、等ニ行ハレマシタ、此國體ノ變革ハ、是ハ一ツノ革命デアリマシテ、其革命ヲ行フニ付キマシテハ、マアドウ云フ徑路ヲ取リマシタカ、是ハ色々多岐ニ涉ッテ居リマスルガ、單純ニ現ハシタ所ヲ以テ見マスルト云フト、主トシテ共產主

義者、無政府主義者、乃至ハ社會主義者トカ云フガ如キモノガ、軍隊ニ向ッテ宣傳ヲ行ヒ、進ンデハ煽動ヲシ、其ヤリ方ハ戰線ニアル者ニ向ッテ、コナカラ出張シテ行テ、サウ云フヤウナ行ヲスル場合モアリマセウシ、又長イ戰爭デ、休暇ヲ與ヘテ郷里ニ歸ッテ兵隊ニ向ッテ煽動ヲスル、サウシテソイツガ戰線ニ歸ッテ、國內ノ疲弊困窮ノ狀態カラシテ、盛ンニ此非軍國主義ヲ主張イタシマシテ、兵隊ヲシテ上官ノ命令ニ反抗シ、服從ヲ拒否スルト云フヤウナ態度ヲ取ラス、斯ノ如クシテ軍隊ノ存立ノ根柢ヲ破壞シテ、殆ンド不能ノ狀態ニ軍隊ヲ精神のニ先ヅ陷レテ、而シテ其機ノ熟スルニ方、テ此革命ヲ斷行シテ國體ノ變更ヲ圖ル、斯ウ云フ徑路ヲ多クハ取ッテ居ルヤウデアリマス、國體ヲ擁護スル機關ハ、素ヨリ軍隊ノ外、種々有形無形ニ關係ガアルデセウガ、併シ威力ヲ以テ絕對ニ國體ヲ擁護スルモノハ、先ヅ陸軍、海軍、警察、主トシテ此陸海軍ノ武力ニ依ラヌケレバナラヌモノグラウト思ヒマス、ソレデ究極スル所、一國ノ武力ガ軍隊ニアレバ、相當國體ノ變更ヲ窺視スルモノガアリマシテモ、是ハ十分擁護ガ出來ルコトト思フノデアリマス、昔ナラバ多クノ場合ニ於テ革命デモ實行シヤウト云フモノハ、暴ヲ以テ暴ニ易ヘルト云フ如ク、即チ内亂ヲ起シテ其目的ヲ達スルト云フコトガ往々ゴザイマシタガ、近世ニ至リマシテハ、御承知ノヤウニ先ヅ其國體ヲ擁護スル主ナル者ヲ、之ヲ精神のニ痲痺サセテ、サウシテ此目的ノ所ニ突貫ヲシヤウ、斯ウ云フ手段ヲ執ルヤウデアリマスカラ、私共ガ見ル所ヲ以テスレバ、國體ノ變更ヲ擁護スルト云ヘバ、變革ヲ豫防スルト云ヘバ、第一ニ此軍隊ノ軍紀ト云フモノヲ崩壞スルト云フコトヲ取締ラヌケレバイ

ケナイモノ、ヤウニ考ヘルノデアリマス、ソコデ軍隊ニ向ッテ宣傳ヲシ、煽動ヲスル者ハ、直チニ國體ノ變革ヲ目的トシテ宣傳ヲスル、煽動ヲスルトハ申セマセヌデセウガ、恐ラクハ此軍國主義ハイカヌ、恒久平和ノ場合ニ於テハ軍備ノ必要ガ無イカラト云フガ如キ、一ツ假想ノ目的ヲモ茲ニ掲ゲテ、サウシテ軍隊ノ崩壞ヲ圖ルト云フヤウナ手段ニ出ルノガ、先ヅ普通ノ主義者ノヤリ方デアラウト思フノデアリマス、併ナガラソレハ唯表ニ掲ゲル所ノ看板デアッテ、目的トシテ居ル所ハ結局此國體ノ變更迄行カウ、斯ウ云フノデアリマスカラ、之ニ向ッテ十分ニ取締ノ途ヲ講ズルト云フコトガ最も必要ノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデサウ云フ目的テ軍紀ヲ破壞シテ、此國體ノ變革ヲ圖ラウト云フガ如キ大ソレタ者ハ、此法律ヲ取締ルコトガ出來ルノデアリマセウカ、或ハ又此法律ヲ取締ラヌガ、外ニ之ヲ取締ル途ガアル、斯ウ云フノデアリマセウカ、ソコノ處ヲ一ツ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ソレデ此法律ヲ取締ルナラバ其何條デアッテ、又他ノ法律ヲ取締ルナラバソレガ何ノ第何條ニ該當スルモノデアアル、斯ウ云フ風ニ一ツ具體のニ御示シヲ頂キタイト思フノデアリマス

○政府委員(山岡萬之助君) 唯今御質問ノ説明トシテ御述ベニナリマシタルコトハ、大體ニ於テ御同感ノ次第デアリマス、今日ニ於キマシテハ、此無政府主義者共產主義者等ノ運動ハ、昔ノ武力ト申上ゲマスカ、昔ノ暴動手段即チ内亂ニ依ッテ事ヲスルト云フ時代トハ全ク懸離レテ來テ仕舞ヒマシテ、思想ヲ先ヅ惡化セシメ、思想ノ惡化ガ起ッテ其後ニ持ッテ來テ目的タル根柢ヲ破壞シヤウ、斯ウ云フ風ナ傾向ニナッテ居リマスノデ、是故ニ十九世紀ノ法律制度ヲ以テシテハ、今日ノ社會現象デアアル關係ヲ取締ルニ足ラヌ譯ニナッタ次第デアリマス、從前デアリマス、唯今御説明ノ如ク、政府ヲ顛覆スルト云フノニハ暴動以外デハ目的ヲ達シラヌノデアリマスルカラシテ、茲ニ其事柄ニ關シマシテハ、内亂罪ト云フモノヲ規定シテアレバ、ソレデ足りタノデアリマス、此コトハ世界各國トモ其探ヲ一ニ致シテ居リマス、然ルニ御承知ノ如ク十九世紀ノ末頃カラシテ、無政府主義社會主義ト云フ思想ヲ以テ、社會ノ變革若クハ國家ニ對シテ革命ヲ企テヤウトスルコトニナリマシタルデアリマス、茲ニ於キマシテ歐羅巴ニ於テハ、大戰爭前ニ於テハ總テ之ニ對シマスル、ソレト取締法ガ大體備ハンテ居タルデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ、世界大戰爭前ニ於キマシテ、思想ノ變化ハ勿論、外來思想モ隨分這入ッテ參リマスケレドモ、未ダ以テ帝國ノ此根柢ヲ脅スガ如キ所ニ至ッテ居ラナカッタ、ソレデアリマスカラシテ、十九世紀ニ於ケル取締法シカ外ニ何モ備ハラナカッタノデアリマス、然ルニ大戰爭ノ結果トシテ露西亞ノ革命、之ニ關係シテ非常ナル過激ノ思想ガ急ニ這入ッテ參リマシタカラシテ、茲ニ社會狀態ハ稍、混亂ノ狀態ヲ呈スルニ至ッタルデアリマス、左様ナ次第デ本法ニ於テ取締ラムトスル所ハ、御説明ノアリマシタ如ク思想ヲ惡化セシメ、即チ精神のニ痲痺セシメテ、サウシテ茲ニ國體ノ變革ナルモノ……私有財產制度ヲ否認シヤウト云フコトニナラノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラシテ、本案ニ於キマシテハ其積リヲ以テ結社ヲスル、結社ヲスルト云フコトニナリマスト、唯茲ニ結社ヲ造ルト云フコトハ、敢テ直チニ國體變革ニ影響ヲ持ツコトニハナラヌノデアリマスガ、此結社ト云フモノ

ガ、先キニ警保局長ヨリ申上ダタ如ク、支部ヲ造テ段々全國ニ枝葉ヲ造テ參リマス、此全國ニ結社ノ枝葉ガ出來テ來マスト云フト、茲ニ於テ恐ロシイカヲ持ツ譯ニナリマスル、ソレカラ次ニ協議デアリマス、其次ハ三條ノ煽動、是モ結局循環シテ參リマスケレドモ、結社ヲヤリマスノハ煽動ガアリ、煽動ガ出來テ來テ後、更ニ此結社ノ關係ヲ廣ク普及セシメマス爲ニ協議アリ、煽動ト云フコトニナル、結局此三者ハ循環シテ參リマス、ソコデ三者ヲ以テ既ニ鼎ノ足ノヤウニ缺クベカラザル關係ニナルノデアリマス、ソレダケノ事柄ヲ茲ニ本法ニ取締ル行爲トシテ、其一ツヲ缺クコトハ出來ナイモノデアルト云フ意味ニ於テ刻記シタ譯デアリマス、左様ナ次第御説明ノ途行キニ行キマス事柄ハ御同感デアリマスガ、唯最後ノ問題デアリマス、軍隊ニ對シテ宣傳煽動若クハ其他ノ方法ヲ執テ行ク場合ニ、彼等ノ考ヘル所ハ思想ヲ先ゾ麻痺セシメ、サウシテ最後ノ目的ヲ達セヤウ、斯ウ云フコトハ無論考ヘルコトデアラウト思ヒマス、茲ニ於テ形ノ上カラ唯單ニ軍國主義若クハ軍閥云々ト云フガ如キコトヲ以テ、外界ニ現ハレマシタ場合ニ本法ヲ適用スルカト申シマスレバ、ソレダケノ形ノミ持タヌノデアルト云フコトガ、證據上ニ於テソレ以上ノ説明ノ付カナイ限リハ、本法ノ適用ハ出來ヌ、或ル形ニ現ハレタ所ハ軍國主義ヲ破壞スルニアルト申シマシタ所デ、全體ノ證據ヲ綜合致シテ、其證據上カラ其目的トスル所ハ國體變革ト云フコトニ在ルノダト云フコトニナレバ、本法ヲ適用致シマスシ、無政府主義者共產主義者ノ如キ者ハ、常ニ先ゾサウ云フ目的ヲ有テ居ルノデアルガ、共產主義者デアリ無政府主義者デアリ其事柄ノ全體ヲ調査シマス、サウ

云フ目的ノ證明サレル場合ガ相當ニアラウカト思フ、併シ調査ノ結果トシテ、其目的ノ證明サレヌ限リハ是ハ已ムヲ得ナイ、本法ヲ適用スル譯ニハ參リマセヌ、然ラバ他ノ法律ニハ如何ニスルカト云フ問題ニナルノデアリマス、サウナリマスト云フト、治安警察法新聞紙出版法、斯ウ云フコトニナリマスノデ、新聞紙法ニ依リマスト、朝憲ヲ紊亂スル事項ヲ掲載致シマシタ、即チソレニ依テ煽動ニ及ビマシタ者ハ、二年以下ノ禁錮及ビ三百圓以下ノ罰金ト云フコトニナリテ居リマス、軍降ノ組織ヲ根本的ニ破壞スルコトハ、朝憲紊亂ナリト云フコトニナリテ居リマス、唯其一部ノ軍紀軍律ノ輕イ所ヲ害スルコト云フコトニナリマスレバ、ソレハ安寧秩序ノ問題ニナル場合モアラウト思ヒマス、サウ云フコトモ矢張り新聞紙法ニ於キマシテハ四十一條ニ於テ罰シテ居リマスル、六箇月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ヲ以テ罰シテ居リマス、出版法ニ依リマスルコト云フト、唯今申上ゲマシタル朝憲紊亂ノ事項ニ關シマスレバ、ソレハ直チニ犯罪ト致シマスルガ、安寧秩序ノ問題ニナリマスレバ、ソレハ一旦禁止ヲ致シテ、然ル後ニ出版物ヲ査閲シタ場合ニ於テ之ヲ罰スルノデアリマシテ、取締ガ稍、緩慢デアリマスレドモ、兎ニ角取締ノ方法、ダケハアルノデアリマス、ソレカラ集會ニ於テ高談論議等即チ演說ニ依テ斯ノ如キコトヲ煽動イタシタ場合ニ於テハ之ヲ中止スルト云フ關係ニナリマス、其中止命令ニ違反シテ始メテ三箇月以下ノ禁錮又ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金、斯ウ云フコトニナリテ居リマスルガ、兎ニ角從前ノ法律ニ於キマシテモ、從前ト申シマシテハ少シ具合ガ惡ウゴザイマスガ、是マデ出來テ居リマスル所ノ法律ニ依リマシテモ、一應ノ取締ガ出

來タノデゴザイマス、本案ニ於キマシテ、軍紀軍律ヲ害シマスル所ノ、言葉ヲ換ヘマスト云フト、兵役ノ義務ニ對スル犯罪行為ヲ除ケマシタ所以ハ、決シテ之ヲ輕ク見マシタ譯デハゴザイマセヌノデアリマス、從前ノ法律ニ依テ相當ノ取締リノ規定ガアリ、本案ニ於キマシテハ最モ今日其弊害ノ恐ルベキモノナリト考ヘマスル所ノ、無政府主義共產主義ト云フモノニ對シテ、先ゾ取締法ヲ制定スル必要アリ、ソレニ付テハ此兵役ノ義務問題ハ姑ク除外シマシテモ、其趣旨ガ本案ノ提案ニ依テ達セラレマスルカラシテ、決シテ之ヲ輕シトシテ除外スルト云フノデナクシテ、差向キ最モ弊害ノ大ナルモノニ付キ、此規定ヲ以テ議會ノ協賛ヲ經タイ、斯様ナ次第デアリマス

○男爵大井成元君 一應御説明ハ了承イタシマシタ、本法以外ニ於テ、軍隊ノ軍紀、軍律ヲ破壞スル者ハ、出版法又ハ新聞紙法ニ依テ取締ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトデゴザイマス、サウデゴザイマセウガ其外ニデス、此印刷物ニ依ラズシテ、或ハ兵隊ニ向テ直接ニ、前甲シマシタヤウナ軍紀ヲ崩壞スルコトヲ煽動シタリスルヤウナ者ハ、ドウシテ取締ルノデゴザイマスルカ、ソレヲ一ツ伺テ置キタイ

○政府委員(山岡萬之助君) 兵隊ノ一箇ニ對シマシテ不法ナル行動ヲ執リマスコトニ付キマシテハ、犯罪ノ教唆ト云フコトニナリマスル、場合ニ於テハ此教唆トシテ取締リマス譯デゴザイマス、其場合ニ於キマシテハ、矢張り本犯ガ成立シナケレバナラヌ譯デアリマスルガ、一例ヲ申上ゲマスルト云フト、徵兵ヲ忌避スル者ハ、此陸軍刑法ニアリマスル軍紀軍律ニ違フコトヲ以テ致シマシタル場合ニ於テハ、本犯ノ成立ト同時ニ、教唆罪トシテ罰シマスル譯デゴザイマスル、ソレ以外ハ現行ノ法律關係ニ於キマシテハ、取締ルコトハ出來マセヌノデゴザイマス

○男爵大井成元君 私人陸軍刑法ノ條文ハ能ク承知イタシマセヌガ、兵役問題ヲ今茲デ論ズルノデアリマセヌガ、私ガ論ジテ見タイト思ヒマスルノハ、此軍ノ成立ノ根本破壞スル、即チ軍隊ヲ精神ノニ麻痺シテ置カウ、斯ウ云フコトガ國體變革ノ前提デアリマスルカラ、其掲ゲル看板ノ如何ニ拘ラズ、サウ云フ目的ヲ以テ軍隊ニ向テ、或ハ個人トシ、或ハ結社ヲシテ、出版物ニ依ラズシテ、單獨ノ兵隊或ハ集團ノ兵隊ニ向テ之ヲ煽動スル、マア軍隊ノ言葉デ言ヘバ軍紀ヲ害スルコト云フ者ヲ、陸軍刑法ニ依テ罰スルコトガ出來マスルカ、常人ヲ...

○政府委員(山岡萬之助君) 常人ニ付キマシテハ陸軍刑法ハ適用ガゴザイマセヌ、陸軍刑法ハ大體御承知デモゴザイマセウガ軍人軍屬ニ適用サレルコトニ限リマス、サウシテ其軍紀軍律ノ關係ノ重イ所ノモノハ、刑罰ヲ以テ臨ンデ居リマスル、サウ云フ次第其犯罪マデ規定シテアリマスルモノヲ教唆イタシマスレバ、唯今申上ゲマシタヤウニ犯罪ニナルノデアリマスルガ、結局唯今ノ御質問ノ要旨ト致シマスル事項ハ、取締ガナイト云フコトニ歸スルノデゴザイマス、ソレハ詰リ此軍ノ精神ヲ破壞スル爲ニ惡宣傳ヲスルト云フノデアリマシテ、其惡宣傳ヲスルト云フコトガ國體ニ變革ヲ及ボス目的ヲ以テシマシタル場合ニ於テハ、其事柄ガ軍隊ニ對シテ行ハレマシタノデモ、直チニ本法ニ抵觸イタシマスル、前甲上ゲマシタヤウニ其部分ダケハ本法デ取調ハマスルガ、證據上サウ云フコトガドウシテモ現ハレヌト云フ場合ニ於テハ、勢ヒ他ノ法

律テ取締ルヨリ外ナイノデアリマス、其點ハ私前申上ダマシタウニ、新聞紙以下治安警察法ニ於テ取締ル譯デアリマス、ソコデ一個人ニ對スル關係ト云フコトニナリマスレバ、結局法律ガ缺ケテ居ル譯デアリマス、ソコデ一個人ニ對スルモノモ、總テサウ云フモノヲ取締ルベキヤ否ヤト云フコトニナレバ、更ニ是ハ別ノ問題ニナッテ参リマス、ソコデ其點ニ付テ別ニ更ニ茲ニ申上ダタイ、單ニ一個人ニ對スル關係ハ危險ト云フモノガ大體少ナイノデゴザイマス、本案ニ於キマシテモ、單ニ一個人ヲ目的トシテ居ルト云フコトデナイノデアリマスガ、特定人ニ對シテ煽動スル、其煽動行為ハ特定人ヨリ他ニ傳播シテ行クト云フ意味ニ於テ煽動ニナルガ、煽動ハ多數ニ對シテ、不定人又ハ多數ニ對シテノ行動デアアル、斯ウ認メテ居ルノデアリマス、結局ニナリマスルト無論多數トナルノデアリマス、結社ニアッテモソレト同様ニ多數トナリマスルノデアリマス、個人ト云フモノヲ目的ニシテ居ルト云フモノハ、此新聞紙法ニ於テ、出版法ニ於テモ矢張り無イノデアリマス、是ハ矢張り發賣頒布ト云フコトニナッテ居リマスガ、常ニ此不定、多數ノコトニナッテ居リマス、ソレカラ又此治安警察法ニ於キマシテモ常ニ此集會結社ト云フコトデアリマスルガ、多數人ニナリマスルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスルカ唯一個人ニ對スルコトノミニ依テハ其害ト云フモノハ誠ニ少ナイノデアリマス、或兵隊一人ニ對シテ斯ウ云フコトヲヤッタラドウカト云フガ如キコトハ、犯罪行為ニナッテ始メテソレヲ罰スルニ止マリマスガ、ソレ以外ハ罰シナイ、唯害ノ多イノハ矢張り此一人一人ニヤルト云フヤウニ先刻事例ガアリマシタガ、戸別訪問のニヤッタ場合ニハ煽動

ニナルカト云フト、サウ云フ意味デヤルト云フト茲ニ害ガ起ル、サウ云フ時ニハ其事實ノ全體ニ徴シテ數人ヲ煽動シタルモノナル、即チ數人ニ對シテ本法所定ノ事項ニ付テ精神上ニ影響ヲ與ヘシメル、斯ウ即チ煽動ト認メラレル事實ノ關係ヲ綜合シテ見ラル、時ニハ即チ煽動トナルノデアリマス、ドチラニ致シマシテモ、本當ノ特定人ト云フモノニ限ッテ者ニハ、此法案若クハ從前ノ取締ノ法規ニ依ッテハ取締ラヌ譯ニナルノデアリマス

○男爵大井成元君 サウ致シマスルト云フト個人トシテヤッタコトハ不法デハアルケレドモ、害ガサマデ大キクナイカラ是ハ取締ル限デナイ、取締ラナイ、斯ウ云フ風ニ仰セノヤウニ承ッテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 左様デゴザイマス

○男爵大井成元君 ソコデサウ考ヘラレルデセウガ、是ハ私ハナカ、油斷ノナラヌ重大ナ影響ヲ及ボスニ至ルダラウト思ヒマスノハ、ソレガ極ク健全ナ世ノ中デ、タツタ一人シカナイト云フノナラ宜シウゴザイマスガ、周圍ノ空氣ガ非常ニ變ッテ居ッテ、主義者ノ數モ非常ニ多クナッテ、又軍隊ノ精神モ相應時勢ト共ニ變化シテ來タト云フヤウナ場合ニ於テ、個人ト申シマスル其個人ガ、期セズシテ十人モ二十人モ乃至ハ何百人モト云フ風ニ、此多イ軍隊ノ中ニ何テ戸別訪問のニ煽動ヲ始メルト云フト、其結果ハ恐レベキモノニナリハセヌカ、事實ニ於テハ結社ヲシテ大々のニ煽動スルノト何モ變リハナイト云フガ如キ結果ヲ來シハセヌカ、譬ヘテ言ヘバ一ツノ軍艦ニ乘込ンデ居ル水兵ニ向ッテ、或ハ内部カラ：：軍艦ノ内部カラ煽動スル奴モ居リマセウ、又外部カラモ直接ニ煽動シ、或ハ出版物ニ依ッ

テ煽動スル、ソレガ單ニ一人デハナイ、サウ云フ結果デ既ニ實例ニモアリマシタ如ク、一軍艦ノ乗組ノ兵隊ガ全部此主義者ニ變化ヲシテ、甚ダシキハ叛亂ヲ企テルニ至ラタト云フヤウナコトハ往々アルヤウニ思フノデアリマス、唯今ノ御説明デ一應ノ御趣旨ハ了解ヲ致シマシタガ、本法ニ於テ直接ニ團體ヲ擁護スルト云フ御精神ニ非常ニ重キヲ置カレタコトト認メマスルガ、併シ團體ヲ擁護スル其方ノ防禦者、軍隊ト云フモノニ向ッテ之ヲ精神のニ癱痺スルト云フ者ヲ取締ル上ニ於テ、幾分力不十分ノ點ガアリハセヌカト云フ感ジガ、私ハ今尙ホ御説明ヲ承リマシタガ去ナリノデアリマス、事實ノ問題ト致シマシテハドウモ此一國ノ團體ヲ維持スル上ニ付テハ、私カラ言ヘバ何ハ倍テ措イテモ團體ヲ擁護スル直接ノ防禦物、即チ軍隊ノ精神ヲ、彼等主義者ニ依ッテ誘惑ヲサレ癱痺サレヌヤウニ、十分ナ一ツノ取締法ヲ設ケルト云フコトガ、斯ウ云フモノニ向ッテ取締法ヲ制定スル必要ガアリハセヌカ、其點ガ一番大事ナ點デハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、然ルニ幾分カドウモ御考ノ基礎ガ變ッテ居リハセヌカト思フ、如何ナモノデゴザイマセウ

○政府委員(山岡萬之助君) 段々御述ベニナリマシタ御趣旨ニ付テハ、政府ノ考ヘル所モ少シモ變リハナイノデアリマス、先頃來申上ゲマシタヤウニ、先ツ軍隊ニ對シテ思想ヲ惡化セシメ、サウシテ最後ニ目的ニ達スルト云フコトヲ採ルト云フコトハ、獨リ軍隊ノ關係バカリデナク、各方面サウデアラウト思フノデアリマス、私有財産制度ニ付キマシテモ、小作人ヲ惡化セシメテソレカラ進シテ參ル、斯ウ云フ風ニ各方面共ニ先ツ第一線ヲ崩シテ、ソレカラ第二ノ防禦線ト云フ風ノ行キ方ニ行クコトグラウト

思ヒマス、ソレデアリマスカラ本當ヲ申シマスルト云フト、今日ノ秩序維持ヲシマスルニハ、朝憲紊亂及ビ安寧秩序ヲ紊亂スルモノニ付テ、特ニ其目的ヲ以テ斯カル朝憲若クハ安寧秩序紊亂ノ事項及ビ宣傳ヲナシ、協議ヲナシ、若クハ其爲ニ結社ヲスルト云フコトガアリマスレバ、之ヲ取締ルト云フコトガ徹底のデアリマス、デ此前ノ過激社會運動取締法ニ於キマシテハ、朝憲紊亂ノ事項ハ總テ之ヲ取締ルコトニナッテ居リマシタ、彼處マデ行クト云フト、御説明ニナリ御質問ノアル所ノ目的ヲ達セラレタルニナリマス、ソレデ其後政府ニ於キマシテハ絶エズ研究ヲ致シマシタノデアリマス、矢張り廣クスルト云フ說モ無論今日迄ノ經過ノ中ニハ有力ナル說トシテアリマシタ譯デアリマス、然ルニ提案ガ斯ノ如ク狭クナッテ居リマスノハ、兎ニ角前ニ於ケル貴族院ノ審議ノ模様、其後ニ於キマスル社會ノ總テノ事情、種々ナル點ヲ考察イタシマシテ、今日は是非トモ治安維持法ト云フモノハ成立セシメナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ政府ハ痛切ニ感ジマシテ、扱テ其方法トシテ如何ナル法案ヲ提出シタナラバ果シテ帝國議會ハ之ニ對シテ協賛ヲ與ヘベキヤ、斯ウ云フコトニ對シテ考慮ヲ費シタ譯デアリマス、其外ニ於キマシテ先ツ第一ニ法文ノ文面ヲ正確ニスルト云フコトガ先ツ第一、ソレデ法文ハ第一目的の罪ヲ致シマシテ、各罪ニ於ケル第一條ニ記載シタ事項ヲ目的トシテヤラナケレバナラヌ、單純ニ結社ヲシテ而シテ之ヲ行クト云フ行為ノ犯罪デハ本法ニ抵觸シナイト云フ、非常ニ意思ノ點ヲ強メル規定ヲ致シマシタ、更ニ行為ノ方デゴザイマ

スガ結社ヲ協議ト云フコトハ無論極リ切タコトデアリマス、一番問題ニナリマスノハ三條デアリマス、是ガ宣傳ト云フコトハ

ハ三條デアリマス、是ガ宣傳ト云フコトハ

ハ三條デアリマス、是ガ宣傳ト云フコトハ

所謂「プロバガンダ」ト云フ意味デ、過激社會運動取締時代カラ文字ガ出来テ居リマス、法律用語トシテ案ニ出マシタノハ始メテデアラウト思ヒマスルガ、ソレガ今日ノ社會運動ノ上ニ普通使ハレテ居ル言葉ナノデアリマス、ソレガ解ラヌト云ヘバ解ラヌデアリマスケレドモ、今日解ラヌト云フ人ハ大體ナカラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ解ラヌト云フ人ガナイ以上ハ其言葉ヲ用ヒタ方ガ宜カラウト云フ説ガ有力デアリマス、サウ云フコトデ、一面ニ於テ強イ説トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯サウ書キマスルト云フト、不定又ハ多數ト云フ意味ニ於テ、三百人五百人ノ教壇ニ立ッテサウシテ共產主義ヲ講演シタト云フ時ニ、矢張り宣傳ト云フコトニ這入ルノデアリマス、然ラバソレガ有罪カト云フトドウモソレハ觀念ノ上カラ有罪トハ云ヒ難イノデアリマス、結局教鞭ヲ執ルト云フコトハ一ツノ職務デアリマス、其職務ノ當ニ爲スベキコトヲ爲シタカラト云ウテ犯罪ニナラヌト云フ、主義ニ於テ、其方面ニ於テ無罪ニ扱フベキモノデアリマセウト思ヒマスカ、サウ云フ風ノ兎ニ角宣傳ト云フ文字カラ申シマスルト、誠ニ正當ナル行爲迄モ尙且ツ法文ノ書イタ文字ニ嵌マルコトニナリマス、サウスルトドウモ一般ノ觀察ハ取締法規トシテ非常ニ危険デハナイカト云フコトニナリマスルノデ、遂ニ其點ハ煽動ト云フ極クモウ狭マツタ即チ其文字ソレ自體ガ犯罪ノ文字デアリマス、煽動ト云フコトハソレ自體犯罪ノモノデアアル、此故ニ教壇ニ立ッテ述べル所ノ如キハ勿論煽動ニ這入リマセヌ、惡意以テ此思想ヲ傳播セシメ、而シテ其思想ヲ行ハシムベクナシマシタ場合、始メテ煽動ニナル、斯ウ云フ關係ヲ各條文共ニ非常ナ注意ヲ拂ヒマシタ、ソ

レカラ更ニ、保護スベキ目的物ノ方デアリマス、之ニ付キマシテモ先刻申上ダマスルヤウニ、朝憲紊亂安寧秩序ノ紊亂ト云フコトガ、取締ノ面カラ言ヘバ徹底デアリマス、然ルニソレヲ避ケマシテ極ク緩ニ國體ノ變革ト、ソレカラ私有財産制度ノ否認ト云フ二ツノ事項ノミヲ茲ニ掲ゲマシタト云フハ、是非トモ本案ヲシテ帝國議會ノ協賛ヲ經、而シテ今日ノ最モ忌ムベキ現象デアリマスル所ノ無政府主義、社會共產主義、之ヲ取締ラナケレバナラヌト云フ、寔ニ緊急ナル必要ヲ感ジマシテ居ル譯デアリマス、ソレデ其點ダケヲ、之ヲ茲ニ説明イタシマシタ譯デアリマス、軍隊其他納稅ノ義務小作ノ關係等、總テ輕ク見テ居ル意味デハゴザイマセヌ、ソレヲバ勿論取締ラナケレバナラヌ、詰リ無政府主義共產主義ノ目的ニ出マシタ範圍ニ於テ先ツ取締ヲシテ、之ニ依ッテ目的ヲ達シタイト云フ政府ノ希望デアリマス、是非トモ此法案ノ成立ニ依ッテ取締ノ面ヲモ勵行シ且又軍紀ノ方面ニ於キマシテ精神上ノ方面ヲモ、此法律ノ制定ト同時ニ、國家ノ意思ハ正ニ斯ノ如クデアルト云フコトヲ明カニ致シマシテ、精神界即チ教育方面ト、社會方面ノ教化團體其他ニ於テモ、國家ノ意思ハ正ニ斯ノ如クデアルト云フコトヲ明カニシテ精神界ヲモ改善イタシタイト、之ニ依ッテ此法律ノ最小限度ニ規定シアリマスル所ニ依ッテ、目的ヲ是非トモ達シナケレバナラヌト云フ覺悟ゴザイマス、但シ併シ唯今ノ御説明ニアリマスル所ノ軍隊ニ對スル所ノ煽動ト云フモノハ最モ危険ナル事柄デアリマスガ、唯今ノ程度ニ於キマシテハ取締ノ方カラ、前ニ御聽取ニナリマシタル如ク、ソレ程ノ危険ト云フモノハナイ、斯ウ云フ風ニ先ヅ見テ居ルノデアリマス、是ガ危險ノ狀況ニナツタラ

バソレハ殆ド取返シノ付カナイコトデアリマスケレドモ、今日ノ狀況ニ於テハ先ヅ以テ此二事項ヲ掲ゲテ取締ヲ致セバ目的ヲ達スルグラウ、斯ウ云フ次第デゴザイマシテ、根據トスル見解ニ付テハ全ク御同感デアリマス、左様ナ次第デ此一條ノ保護スル所ノ關係ハ狹クナッテ居ル次第デゴザイマス

○男爵大井成元君 モウ一ツ簡單ニ承リマシテ終リト致シマス、本法ヲ已ムヲ得ザル極ク狹イ範圍ニ御制定ニナリマスト云フ御趣意ニ付キマシテハ、何等異存ハゴザイマセヌデアリマス、私ト致シマシテハ……然レドモ是ハ實際問題ト致シテドウシテモ重要ニシテ看過スベカラズ、此本案御提出ノ國體ノ變更ヲ圖リ私有財産ヲ否認スルト云フガ如キ、其根本問題ヲ擁護スル其目的ヲ達スル上ニ付テ、之ニ伴フ事態ノ嚴重ニ取締テ其目的ヲ達シナケレバナラヌト云フコトモ必要デアラウト思フ、ソレデ前來述ベマシタ、軍ノ存在ヲ否認スルト云フガ如キ、或ハ軍紀ヲ破壞スルト云フガ如キ、御承知ノ如ク一國ノ軍隊ニ於キマシテハ、此服從關係命令關係ト云フモノヲ大精神ト致シマシテ、是ナクンバ軍ノ存在ト云フモノハ殆ドナイト云フテモ宜イ位ノモデアリマシテ、是ガ流れテ上下ノ統帥ノ關係ヲ律シテ、大ハ以テ陛下ノ統帥權ノ所ニマデ及ブ所ノモノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、軍ヲ崩壊セシメントスルナラバ、ドウシテモ服從關係ニ於テ軍隊ノ精神ヲ痺痺スルト云フコトヲ圖ラナケレバナラヌデアリマス、本日午前國體ト云フコトニ付キマシテノ御説明ヲ承リマスルト、國體ハ單ニ言ヘバ憲法第一條ニ掲ゲタル所ノモノデアアル、而シテ天皇ハ統治權ヲ總攬サレルニ依ッテ、其統治ノ大權ニ關

スル事項モ亦國體ノ中ニ這入ルノデアルト云フガ如キ説明ノヤウニ承ッテ居リマシタ、聊カ其點ニ付テ私ハマダ了解ニ苦シンデ居リマスルガ、憲法第一條ニ唯文字ニ現レテ居ル所ノモノヲ以テ國體ト云フナラバ、國體ヲ變革スルト云フコトハ何カ至尊ノ玉體ニモ關係スルヤウナコトデナクチャナラヌ、斯ウ見ラレマスガ、決シテ國體ヲ變更スルト云フコトハソレ許リデナシニ、其統治ノ大權ノ根本ニ向ッテ變革ヲ圖ルト云フコトガ、此國體ノ變革デアルト云フコトニ言ハレハナイカト思フノデアリマス、シテ見ルト云フト、此軍ニ付キマシテ云ヘバ、統帥權ノ根柢ヲ破壞スル、即チ此軍ノ精神ヲ痺痺スルト云フガ如キハ、一面カラ見レバ、是レ國體ノ變革ヲ圖ルモノデアアル、斯ウモ認メラレヤシナイカト思フノデアリマスガ、シテ見ルト云フト前來述ベマシタ軍紀ヲ破壞スルト云フ行爲ハ、其名ガ縱シンバ非軍國主義、軍備否認ト云フヤウナ名前デアッテモガ、是ハ國體ノ變革ヲ圖ルモノトシテ、本法ニ依ッテ取締リ得ルヤウニナラヌカ、斯ウ云フ疑ヲ持ッテ居リマスルガ、此點ニ付テ説明ヲ願ヒマシテ、私ノ質問ハ總テ終リト致シマス

○政府委員(山岡萬之助君) 此軍紀ヲ破壞イタシマシテ、上命下服ニ影響ヲ與ヘマスルト云フコトガ、是ハ即チ軍隊ニ於キマスル精神破壞ニナリマスル點ハ御説明ノ通りト考ヘマス、此コトニ付キマシテ統治權ノ根本、即チ國體ノ變革ト云フコトニ如何ナル關係ヲ持ツモノデアアルヤト云フ大體ノ御質問ト思料イタシマス、ソコデ先ニ申上ゲマシタ、此大權ノ全體ト、統治權其モノ、變革ト云フコトニ付テ、尙ホ一言申上ゲタイノデアリマス、天皇ガ統治權ヲ總攬イタサレマシテ、而シテ今日ノ政治ヲナサル

云フコトニ付テ、御親裁ニナリマスルモノ
ガ、即チ申スマデモアリマセヌ大權ト申シ
テ居リマス、御親裁以前ノ即チ帝國議會、裁
判所、若クハ狭イ意味デノ政府ト云フモノ
ニ依テ行ハレマスルモノガ、即チ間接ニ
統治セラル、コトニナリマスルノデアリマ
ス、機關ニ依ル統治デゴザイマス、何レニ
致シマシテモ、直接ニ御親裁ニナル所ノ大
權事項デアリマシテモ、大權以外ノ事柄デ
アリマシテモ、其基ク所ハ一ツノ統治權デ
アリマス、ソレデアリマスルカラシテ、即
チ 天皇ハ統治權ヲ總攬イタサレル譯デア
リマス、ソコデ統帥權ノ關係デゴザイマス
ガ、統帥權ハ大權ノ一部トシテ規定イタサ
レテ居リマス、統帥權ヲ行使サレル所ノ形
式ニ付テ今日ノ形式ヲ其儘ニ存シテ置ク
ガ、或ハ他ニ何等カノ變革ヲ致スベキカト
云フガ如キコトハ、ソレハ國體ニ關係ハナ
イノデゴザイマス、國體ハ統帥權其モノガ
天皇トノ關係ニ於テ之ヲ云フスルコトニナ
リマスレバ國體ニ影響スルノデアリマス、
サウ云フ次第デアリマスルカラシテ、其モ
ノ服從命令ノ關係其モノ、ソレニ對シテ直
接ニ攻撃ヲ加ヘルト云フコトハ、統治權其
モノニ影響スルモノニ非ズシテ、矢張り
ソレハ統治權ノ行使セラル所ノ其働ノ中
ニ影響ヲ加ヘルモノデアリマス、ソレデア
リマスルカラシテ、此軍紀ヲ破壞シ、命令
服從ノ關係ニ支障ヲ來サシメルト云フコト
自體デハ本法ニ牴觸シナイノデアリマス、
併シ附加ヘテ申上ゲタイノデアリマスガ、
サウ云フ企テスル人ハ矢張り多クハ無政府
主義者共産主義者デアリマシテ、是故ニサ
ウ云フ人達ノ企テル行動ハ矢張り國體ヲ變
革若クハ私有財産ヲ否認スル目的ニ於テ、
其手段トシテ茲ニ攻撃ヲ加ヘルト云フコト
ニナルノデアリマス、唯其證據上ニ於テサ

ウ云フ風ニ現ハレナカッタ場合ニ於テハ、
本法ヲ以テ取締ルコト云フコトハ出來ナイコ
トニナリマス、即チ御質問ニアリマシタ形
式ニ於キマシテハ、本法ヲ以テ取締ルコト
ハ出來ナイ、斯ウ申上ゲル譯デアリマス
○湯地幸平君 私ハチヨット此條文ニ付テ
御尋ネ致シタイノデスガ、第二條ノ此「前
條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ
實行ニ關シ、」此目的タル事項ノ實行
ニ關シト云フノハ前ノ「國體若ハ政體ヲ變
革シ、若クハ私有財産制度ヲ否認スル」、ソ
レヲ目的トシタ實行手段ニ這入ッタ所ヲ云
フノダラウト思ヒマス、併シ又此變革トカ
否認トカ云フ目的タケデハソレハ犯罪ニナ
ラヌノデスカラ、ソレガ外部ノ行為ニ現ハ
レテ結社ヲ組織スル、或ハソレニ加入スル
トカノ行為デアッテ、始メテ犯罪ヲ構成ス
ルノデアリマスカラ、結社ヲ組織スル目的
タル事項ヲ協議シタモノヲ含ムノデアリ
マスカ、第二條ハ如何デスカ、結社ヲ組織
スル目的ヲ以テ、結社組織ノ實行ニ關シ協
議シタモノモ這入ルノデアリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 第一條ノ目的
タル所ノ事柄ノ實行自體ニ非ズシテ、實行
ニ關シト云フコトニシテ廣ク致シテアリマ
ス、サウ云フ意味デアリマスカラ、サウ云
フ廣イ意味デ解釋スベキモノデアリマスカ
ラ、ドノ點ガ果シテ其事項ノ實行ガ始マッ
タカト云フコトニナリマスレバ、現實外界ガ
ラ犯人ノ意思ガ認メ得ラレル程度ニ：即
チ其認メ得ラレル程度ト申シマスノハ、國
體ノ變革私有財産ノ否認ト云フコトヲ認メ
ラレル事項ヲ始メレバ宜シイ譯デアリマ
ス、解釋上ニ於テハ矢張り結社ノ組織ト云
フコトモ之ニ依テ認メラレルコトニナルカ
ト考ヘマス

○湯地幸平君 此事項ノ實行ニ關シテト云
フノハ、結社組織ノ實行ニ關シタコトヲ含
ム、斯ウ云フ意味デアリマスカ
○政府委員(山岡萬之助君) サウ云フ風ニ
讀ミマシテハ適當デナイノデアリマス、詰
リ第一條所定ノ事柄ヲ實現スベク或ル行動
ヲ取ル、即チソレガ實行行動上ヨリ：結
社ノ實行ニ關シト云ウテハ循環論法ニナリ
マスノデ、其結社ト云フコトガ矢張り第一
條ノ事項ヲ實現スベキ犯人ノ意志ヲ認メル
コトガ出來ル事項デアアル、斯ウ云フコトニ
解釋シタイノデアリマス

○湯地幸平君 サウシマス、此變革若ク
ハ否認ト云フコトヲ目的トシテ、單ニ結社
ヲ組織シタト云フ行為ヨリモ、其變革若ク
ハ否認ヲ實行スルコトニ付テ協議シタト云
フ行為ハ、モット進ンデ居ル行為ノヤウニ
思ヒマス、單ニ結社ヲ組織シタタケデ、結
社ヲ組織シテ居ル間ニ、ソレニ加入セシメ
テ頭ヲ造ルノデアアル、サウ云フ思想ヲ先
初メニ與ヘル、ソレカラ實行ニ著手スルト
云フコトニナッテ來ルカラ、結社ヲ組織ス
ルト云フコトヨリモ、第二條ノ目的タル事
項ノ實行ニ關シテ協議スルト云フコトニナ
リマスカラ、結社スルト云フコトヨリモ、
ト進ンデ行為ト思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 本條ノ目的ト
シテ規定シタル事項ハ唯今御説明ノ通りデ
アリマス、即チ結社ト云フコトヨリモ、ト
進ンデ、明日一ツノコトヲヤラウト云フヤ
ウナ程度ニ進ンデモノガ、寧ろ第二條ニ規
定シタ所以デアリマス、是ハマア集會ヲナ
シタルモノト云フ、此前ノ過激社會運動取
締法ニアリマシタ、ソレヲ斯ウ云フ風ニ更
ニ文字ヲ更ヘマシテ、其所デ各人ガ落合ハ
ナクテモ、時ヲ異ニシテ協議イタシマシテ
モ、之ヲ罰スルト云フ趣旨ノ意味ニ於テ更
ヘマシタノデアリマス、而シテ「實行ニ關

シ」ト云フコトハ、多ク唯今御話ノ場合ヲ
想像シテ規定シタノデアリマス、斯ウ云フ
風ニ申上ゲル譯デアリマス
○湯地幸平君 サウシマス、第二條ノ目的
タル事項ノ實行ニ關シテ協議シタト云フ事
柄ガ、大體ニ於テ結社ヲ組織シタト云フコ
トヨリ進ンデ行為ノヤウデアリマスガ、進
ンデ行為ナラバ一方十年以下トアリマ
ス、一方七年以下トアリマスガ、進ンデ
行為ヲ刑罰ヲ短クサレタト云フコトハ少シ
理窟ニ合ハヌヤウニ思ヒマスガ、如何デア
リマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) ソレハ事柄ガ
進ンデ退イタト云フ問題カラ行キマス、左
様デアリマス、然レドモ本案ニ於キマスル
取締ノ趣旨ハ、所謂露西亞共產黨ノ形式ヲ
以テマシテ、各地ニ根據ヲ置キサウシテ支
部ヲ作ル、所謂細胞ヲ造ッテ所謂思想、人
間ヲ惡化セシメル、是ガ根本デアリマス、
其コトサヘ取締レバ先ヅ第一ハ宜シイノデ
ス位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデア
リマスカラシテ、本法ノ重大ナル意味ハ第
一條ノ結社ニアリマスノデ、第二條以下ハ
結社ヲシタ結果、實行行動ニ關シテ協議シ
タ場合デ、其結社前ニ於テ、結社ヲシナイ
人達ガ協議ヲスル場合モアラウト思ヒマ
ス、此協議ヲナスト云フコトハ一時的デア
リマスガ、結社ハ繼續的デアリマス、繼續
的結合デアアル、第一條ハ繼續的デ第二條ノ
事柄ハ一時的結合デアリマス、故ニ斯ノ如
キ形ニ於テ刑罰ヲ定メルガ適當ト考ヘマ
ス

○湯地幸平君 併ナガラ段々進ンデ程度
ガ：結社ヨリ進ンデ行為ガアル、詰リ、
實行ノ目的タル事項ノ實行ニ關シテ協議ス
ルト云フ事柄ハ、モウ目的ニ餘程近寄ッ
タ事柄デアッテ、結社ハマダ人ノ思想ヲ能ク

總ノテ、サウシテ、目的ノ遂行ニ進シテ行
カウト云フコトデアッテ、大體ニ於テ、結
社ノ方ハ目的ノ實行ノ手段ニアリマスルケ
レドモ、ドウモ、目的ノ實行ヨリ少シ前ノ
結社デアッテ、第二條ノ場合ハ目的タル事
項ノ實行デスカラ、目的ヲスグ達スル場合
ニ關シテ居ルカラ、ドウモ、第二條ノ方ガ
重イヤウニ考ヘラレマス、少クトモ、前ノ
第一條ヲ十年以下ニスルナラバ、第二條モ
矢張り十年以下……併シ、其目的タル事
項ノ實行ニ關シテ協議ヲシタノニモ色々種
類ガ有リマセウ、ソレハ極ク一時的ノ輕イ
ノモ有リマセウ、兎ニ角、現在六年カ七年
カノモノニ違ヒ有リマセウガ、併シ、モウ
少シ進シテ目的タル事項ノ實行ニ關シテヤ
ルト云フノハ、モット進シテ非常ニ惡イモ
ノモ有ラウト思ヒマスカラ、ソレハ矢張り
長期ヲ十年以下トシテ置ク事柄ガ、ドウモ
適當ノヤウニ思ハレマスガ、ソレハ如何デ
スカ

○政府委員(山岡萬之助君)

ソレハ唯今申
上ダマスルヤウニ、此刑期ガ最も適當ダト
考ヘマスル、更ニ二三申上ダマス、其内亂
ノ陰謀デゴザイマス、二人以上ノ協議デ
ゴザイマス、ソレハ暴動ノ目的トシテ協議
ヲスル、斯ウ云フコトデアリマシテ十年以
下ニナッテ居リマス、所ガ、本法ノハ暴
動ヲ目的トスルノデ無クシテ、寧ろ暴動外
ノ事柄ヲ目的トシタ場合ニ本法ニ較ベテ、
暴動ヲ目的トスレバ刑法ニ行ク、ソレデア
リマスカラ、暴動手段ニ出ナイ所ノ協議ヲ
スルノデアリマスカラ、七年以下ト云フコ
トガ、三年下ダルト云フコトハ刑法ノ刑罰
比較カラ申シテモ、ソレガ適當デアル、ソ
レカラ、行爲ニ段々階段ガゴザイマシテ、
陰謀ヨリ著手、ソレカラ、未遂、斯ウ云フ
形ニナリマスルノデ、其階段モ寧ろソレハ

結社ヨリ進シタ場合ガ第二條ニアリ、ソレ
カラ行ケバ、行爲ガ進シテ居ルカラ不都合
デアリ、重クナラザルヲ得ナイト云フコト
ニナルノデアリマスカ、本法ノ取締トハ段
段提案理由説明以來、申上ダマシタ通り、
保護スル所ノ法域ニ直接シナイ、餘程、離
レタ所ニ於テ法域ガ重大デアルガ故ニ、之
ヲ取締ラウト云フ關係デ、ソコデ、ソノ結
社、協議、煽動ト云フ三個ノ行爲ヲ取締リ
マスルノニ、是ハ犯罪論カラ申シマスルト云
フト、先ヅ大體豫備以下ノ行動、豫備マデ
ニハ達シテ居ラヌ譯デゴザイマス、豫備ニ
ナリマスルト、物質的ニ準備ヲスル、若ク
ハ精神的ニ準備ヲスルト云フノデ、モウ、
ソレハ未遂ニ殆ンド離レナイ、著手ニ際ド
イ、ソレヨリ以下行動デアアルコトハ此三種
ノ行動ハ皆ナ以下デアリマス、ソレニ拘ラ
ズ、斯ノ如キ重イ刑罰ヲ用キテ居ルノデア
リマス、ソレデアリマスカラ、著手ニナッ
タラ重クナル、未遂ニナッタラ重イト云フ
觀察ハ、本法ニハ少シ嵌ラヌノデゴザイマ
ス、殊ニ此第四條ノ如キ一層嵌ラヌノデゴ
ザイマス、例ヘバ、脅迫ヲ致ス、脅迫ノ如
キハ一年以下ノ刑罰デアリマス、脅迫デハ
ゴザイマセヌ、暴行デゴザイマス、暴行ヲ
スル、暴行ハ一年以下其暴行ヲ煽動イタシ
マシタ相手方ノ決意スルト否トヲ問ハヌノ
デアリマス、決意イタシマスレバ、教唆罪
ト云フコトニナッテ、教唆ヲスレバ暴行ノ
教唆デ一年以下ノ刑罰、然ルニ煽動ト云フ
コトデ行ケバ十年以下、斯ウ云フコトハ程
度ノ如何ニ拘ラズ、程度ガ進シテ實行シタ
モノニナリマス、一年以下ノ刑罰、コ、
等ハ法理論ノ上カラ著手論、階級論、陰謀
及著手未遂ト云フ階級論ヨリ行カナケレバ
説明ハ出來マセヌ、然ルニ斯ノ如キ事ヲ示
シマシタノハ、各國ノ立法例共ニ斯ノ如キ

規定ガゴザイマシテ、本犯ヨリモ皆ナ重ク
ナッテ居ル、其次第ガ、詰リ法域ガ重大ナ
ルモノニ向ッテ豫備以下ノ行動ニハ特ニ
取締ルト云フ場合デ、而シテ多數人ニ對ス
ルコトヲ前提トスル意味ニ於テ、茲ニ危險
アリト認メテ居ル次第デアリマス、教唆ト
カ、何トカ云フコトニナリマス、先キニ
モ申シマシタヤウニ、常ニ一人ニ對シテ、
特定人ニ對シテノ行クノデアリスカラシ
シテ、公共ノ機會ト云フ意味ハ出テ來ナ
イ、本法總テハ公共ノ意味ニ於テ、危險行
爲ヲ取締ルト云フ意味デアリマス、常ニ廣
ク公ケナ頭ガ這入ッテ居リマスノデ、即チ
煽動ト云フモノモ不定、又ハ多數人ニ對シ
テ犯罪行爲ヲ爲サシムベク企テ、斯ウ云
フ次第デアリマス、左様ナ次第デアリマス
ルカラシテ、實行ノ階段ガ進メバ重クナ
ル、ト云フノニアラズシテ、實行ノ階段ノ
前提トシテ行ク所ノソコニ於テ非常ナ危險
ヲ感ジテ居ルノデアアル、ト云フ風ニ御了解
ヲ願ヒタイ

云ヘバ、今度ハ或範圍内ノ不特定ノ人ニ對
シテ幾ラカ、ソレヲ煽テル、教唆ト云ヘ
バ、特定ノ人ニ極ク人ニ對シテ之ヲ意思
ヲ促ガストカ云フコトガ、大體、サウ云フ風
ニ……是ハ大體ノ觀念デスガ、サウ云フ風
ニ覺エテ居リマスガ、其煽動ト云フノハ教
唆ヨリ餘程輕イモノデスカ、トウ云フ是ハ
大體御考ヘデ、ドノ位ノ範圍デ此煽動ト云フ
コトヲ考ヘラレタノデスカ、チヨット承ハ
リタイ

○政府委員(山岡萬之助君) 犯罪ノ刑ニ流

○湯地幸平君 唯今ノ御説明ハ私ハ満足ハ
致シマセヌガ、ソレ以上ハ意見ニナリマ
ス、餘程、巧妙ナ説明デアアルケレドモ、ソ
レカラ先キハ討論ニナリマスカラ申上ダマ
セヌ、其次ニ伺ヒタイノハ、其煽動シタ者
モ、矢張り煽動サレタ者ト同ジ刑ニナッテ
居リマス、七年以下ノ懲役、刑法ノ方デハ
大概教唆シタ者ト正犯トハ同ジ、其煽動ト
云フモノハ、シテ見ルト云フト、是ハ教唆
ヨリ餘程輕イモノト私ハ思ヒマシタケレド
モ、第二條ノ第三條ガ、同ジ犯罪ニナッテ
居ル以上ハ、此煽動ト云フヤツハ矢張り殆
ンド教唆シタト同ジ位ノ範圍ニ限定サレル
方デアリマスガ、詰リ、此宣傳ト云ヘバ、
大體ハ斯ウ相手ナシニ唯、漠然ト或ル意見
ヲ發表シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、煽動ト

ハ、教唆ハ唯今申シマシタ特定ノ人ヲシテ
教唆セシムルト云フノガ、第二ノ觀念デア
リマス、煽動方面ニナリマスルト、不定又
ハ多數人ヲシテサウ云フ狀況ニ置クト云フ
コトハ性質デゴザイマス、ソレカラ、流布
ト云フコトニナリマスレバ、全ク相手方ガ
自然ニ犯罪ナリ、不法行爲ヲスル決意ヲシ
タコトハ格別デアリマスガ、其流布ノ行動
ト云フモノハ全ク單純デアリマシテ、或不
法行爲ナリ、犯罪行爲ナリヲ多數人ノ間ニ
傳播セシメサヘスレバ、宜イノデアリマシ
テ、其傳播ノ結果ガ、如何様ニナラウト、
ソレハ問フ所デナイノデアリマス、虚偽ノ
風説ヲ流布シタ、虚偽ノ風説ヲ多數人ノ間
ニ傳播セシメサヘスレバ、ソレデ宜シイ、
其結果、商賣ガ振ハナクナッタトカ、振ッ

トカ云フコトハ關係ガ無いノデアリマス、
煽動ニナレバ、ソレハ斯ク爲スベシト云フ意
味ニナルノデアリマス、サウ云フ風ニ程度
ガ違ヒマスルノデ、コ、ノ煽動ト云フコト
ハ、流布ト教唆ノ間ニ存在スル所ノモノデ
アリマス

○湯地幸平君 今、政府委員ノ御説明ニ依
テ、煽動ト云フモノハ教唆ヨリモウ少シ輕
ルイモノダト云フコトデアル、然ラバ本犯
ノ方ト、煽動シタ者トフ同ジ刑ニセラレタ
ト云フコトハ、何カ此煽動ト云フコトニ付
テ特ニ重キヲ置カレタコトガ有リマスル
カ、教唆ナラバ、大概本犯ト同ジデアリマ
スケレドモ、煽動ナラバ、少シ輕イ方ガ適
當ノヤウニ思ヒマスガ、ソレヲ同ジヤウニ
此刑ヲ盛ラレタノハ、何カ特別ナ理由ガ有
リマスカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(山岡萬之助君) 是ハ本犯ノ方
ハ此處ニハ考ヘテ居リマセヌ、煽動行爲自
體ダケヲ見テ居リマス、相手方ガドウ云フ
風ナ行動ヲ執ツタト云フコトハ、別ニ之ヲ
罰スルノデアリマシテ、其別ニ罰シマスル
ノハ、刑法其他ノ所罰令ニ於テ抵觸スル法
規ガ有レバ、ソレデ罰シマスガ、本法ニ於
テハ煽動シタ方面ダケヲ犯罪ニ致シマシ
テ、四條ニ於キマシテモ、矢張り煽動シタ
方面ダケ犯罪トシテ相手方如何様ナ程度
デアルト云フコトハ、本法ハ問ハナイノデ
アリマス

○湯地幸平君 大體可シウゴザイマス
○委員長(公爵一條厚基君) 黒田君

○男爵黒田長和君 第一ニ私、御伺ヒ致シ
タイノハ、此度、此治安維持法ヲト云フ單行
法ヲ出サレタト云フコトハ、私ハ非常ニ遺
憾トスルノデアリマス、若シ刑法ノ改正ニ
依テ其目的ヲ達セラレタ方ガ、非常ニ穩
當デアッタノデハナイカト云フコトヲ感ズ

ルノデアリマス、先程、此治安維持法ト、
刑法ノ七十七條及七十八條トノ關係ヲ述ベ
ラレテ居タヤウデアリマスケレドモ、ソ
レニ依リマシテモ、其隔リガ非常ニ少イノ
デアリマシテ、刑法ニ於テ殆ド罰スルコト
ガ出來ル範圍ガ餘程廣イデアリマス、今
度ノ法律ヲ取締ルコトノ出來ナイト云フ部
分ハ極ク少イノデアリマス、刑法ノ方ヲ改
正セラレタナラバ、極ク少シノ改正ニ依
テ、其目的ガ達セラレルノデナカラウカト
私ハ考ヘルンデアリマス、ソレデ、斯ウ云
フ風ニ此單行法ニ依テ提出セラレルト云
フコトニナリマシタカラ、ソレデ、何ダカ
此國民ノ自由ヲ束縛スルコトヲヤウナ趣旨
ニ見エマシテ、内容ニ於テソレ程ノコトデ
ハナイノニ、何ダカ非常ニ國民ヲ壓迫スル
ヤウナ外見ヲ呈スルノデアリマス、併シ、

刑法ヲ改正スルコトニナリマスレバ、
此刑法ニハ非常ニ極端ナ場合ガデモ想像シ
テ、サウシテ、規定シテアルノデアリス
カラ、國體ヲ變革スルナドト云フヤウナコ
トヲ刑法ニ歌フト云フコトハ、一向不思議
ハ無いノデアリマス、併シ、此單行法ニ於
テ國體ヲ變革スルナドト云フコトヲ書ク
云フコトハ、ドウモ、非常ニ世ノ中ガ非常
ニ荒シダ場合ニ提出サレル法案ト云フ一種
ノ感ジヲ與フルノデアリマス、ソレデ、私
ハ刑法ノ少シノ改正ニ於テ此目的ガ達セラ
レタナラバ、一層宜クハナカッタカト云フ
コトヲ感ズルノデアリマシテ、此單行法ヲ
特ニ出サレタト云フ理由ヲ一應御説明ヲ願
ヒタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイノ
ハ、第一條ノ「國體ヲ變革シ」ト云フ中ニ、
先程カラ無政府主義ト云フコトヲ頻リニ言
ハレマシタガ、是ハ斯ウ云フ場合ヲ想像ス
ルコトガ出來ルト思フ、即チ現在ノ總テノ
機關ヲ破壊スルコト云フコトダケヲ目的トシ

テヤル、サウスレバ、統治權ニ關係ナクヤ
ルコトハ、統治權ガ何處ニアラウト構ハナ
イ、併シ、現在ノ機關ヲ破壊スルコト云フ無
政府主義ガ若シ是ガアッタトスルナラバ、
第一條ノ規定ニ違反シタト云フコトガ言ヘ
ナカラウト思フ、此點ハ如何デアリマセウ
カ、無論、其無政府主義ト云ヘバ、國體ヲ
變革スル目的ヲ以テスルノデアルト云フコ
トヲ以テ、先程カラ無政府主義ト云フコト
ヲ伺フノダラウト思ヒマスケレドモ、又非
常ニ狹イ方法デ、國體ハドウデモ宜シイ、
唯、破壊スルコトガ目的デアルト云フヤウ
ナモノデアリマシタナラバ、此法律、本案
ヲ以テ取締ルコトガ出來ナカラウト云フコ
トヲ憂ヘルンデアリマスガ、是ハ如何デア
リマスガ、第三ニ伺ヒタイノハ、此左傾ノ
方面ガ益、極端ニナリマスレバ、之ニ件ヒ
マシテ、ドウシテモ、反動團體ト云フモノ
ガ無論現ハレルノデアリマス、先程カラモ
御質問ガアッタヤウデアリマスガ、私ハ少
シ異ナタ方面ヲ伺ヒタイ、若シ修正前ノ
ヤウニ、此「政體」ト云フコトガ這入ッテ居
リマスレバ、反動團體ノ暴力トカ、何トカ
云フコトデナシニ、君主專制ヲ理想トシテ
結社ヲスル、或ハ色々ナ事ヲスルト云フ場
合ニ、修正前ニ於テハ無論ノ是ハ取締ルコ
トガ出來タノデアラウト思ヒマスガ、政府
ハ是等ノモノヲ取締ル目的ヲ以テ、政府ト
云フコトヲ入レラレタノデアリマスガ、如
何デアリマスガ、此三點ヲ私ハ伺ヒタイト
思フ

○政府委員(山岡萬之助君) 刑法ノ改正ニ
依テ目的ヲ達シ得ラレルヤ、否ヤノ點ニ
付キマシテハ、是ハ過激社會運動取締法ヲ
提出スル當時カラ既ニ問題トシテ研究ノ題
目ニナッテ居タ譯デゴザイマス、刑法ヲ改
正シテ目的ガ達セラレマスレバ、ソレニ越

シタコトハ無いコトデアリマシテ、其點ハ
御意見ノ通りデアリマス、併ナガラ、刑法
ハ御承知ノ如クニ、刑事犯ヲ規定シタモノ
デアリマシテ、刑事犯デアリマスルト、刑
法ノ保護スル所ノモノヲ破壊スル、直接ニ
即チ公益ヲ毀損スル、若クハソレヲ直接ニ
危險ニスルコト云フモノデナケレバ、刑事犯
トハ云ヘナイノデアリマス、ソレ以上ニ公
益ト甚ダ遠ザカッタ所ノモノヲ取締ルト云
フコトハ、即チ警察ノコトニナリマシテ、
此故ニ申上ゲル迄モナク、警察ハ危險ヲ防
止スルモノデアルト云フコトヲ本體ニ致シ
テ居リマス、左様ナ次第デ、此法案ニ規定
イタシタコトハ全ク公益ト甚シク遠ザカッ
タ所ノ取締デアルトデアリマス、左様ナ次
第デアリマスカラ之ヲ刑罰ガ斯ノ如ク十年
以下、七年以下ト云フ意味デアアルカラ、其
意味ニ於テ刑法ニ却テ調子ガ合ハヌカト云
ヘバ、必シモ絶對ニ合ハヌモノデアルト申
上ゲルコトハ、ソレハドウカト思ヒマス
ガ、大體ニ於テ刑法ト云フモノハ刑事犯ヲ
規定スルモノデアリマスルカラシテ、ソレト
此法案ニ規定シタ事柄ト觀念ヲ一ニスルモ
ノデアルト云フコトハ、ドウシテモ申セナ
イノデアリマス、殊ニ此第五條ノ金品其他
ノ財産上ノ利益ヲ供與スルト云フ關係ハ、
内亂罪ニ於テ暴動ノ目的ヲ直接ニ達スルト
云フ意味ニ於テ、アスコニ附屬ノ規定トシ
テ金穀物件ヲ云々トシテ豫備罪ヲ規定シテ
アリマスガ、ドウモ觀念トスル所ガ刑法ノ
觀念トハ違フノデアリマス、是故ニ刑法ノ
七十七條ノ目的ニ附加ヘマシテ、例ヘバ七
十七條ノ二トシテ前條ノ目的ヲ以テ結社ヲ
組織シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス、
ソレカラ又豫備陰謀ニ當ルモノハ第二條ニ
規定シテ、第三條ヲ續イテ規定スルト云フ
如キコトニナラウト思ヒマスケレドモ、ド

ウモ刑法ニ規定シタル事柄トハ質ガ違ヒマ
スノデアリマス、ソレデアリマスルカラ矢
張り之ヲ別ノ法規トシテ取締ル法規デア
ルト云フコトヲ明ラカニスル爲ニ、單行法
トシテ刑法外ニ規定スルコトガ適當ナリト認
メマシタ譯デアリマス、ソレカラ次ニ第一
條ノ無政府主義ノ問題デゴザイマス、現在
ノ政治機關ヲ破壊スルト云フコトノミヲ企
テアリマスレバ、或ハ一部分ハ之ニ依
テ取締ルコトガ出來マスノデアリマス、其事
ノミヲ以テシタル所ノモノハ國體ノ變革ノ
中ニハ這入ラナイノデアリマス、是ハ先刻
モ申上ダタ通りデアリマス、ソコデ其無政
府主義トノ關係デゴザイマス、無政府主義
者ニシテ唯左様ナ目的ヲ持タル結社ヲ組
織スル、ソレハサウ云フコトハ絕對ニ無
トハ申セマイト思ヒマスガ、併ナガラ無政
府主義自體ハ何デアアルカト云フコトヲ申
マスレバ、是モ私ノ申上ダル迄モナイ、國
憲ト云フコトヲ全部否定シナイト云フ所ノ
モノナラバ無政府主義デハナイ、國憲ノ存在
ヲ前提トシテ今日ノ制度ガ氣ニ入ラナイカ
ラ、之ヲ變革スルト云フヤウナコトデア
リマス、ソレハ無政府主義デハナイノデア
リマス、是故ニ無政府主義ト云フコトニナ
リマスレバ、既ニ此國體ヲ變革スルト云フ
趣旨ガ這入ルノデアリマス、是ハ無政府主
義者ニシテ實際ノ行動ヲ執ル時ハドウデア
ルカ、斯ウ云フコトニナリマスト云フト、
唯今御説明ノアリマシタヤウニ、形ヲサウ
云フコトニ取ルモノガナイトモ限ラナイノ
デアリマスケレドモ、此點ハ矢張り證據ノ
問題ニ關係シテ參リマスノデ、サウ云フ人
達ガ寄ッテ或行動ヲ企テ、居ルト、無政府
主義ノ發露トシテ、即チ無政府主義ヲ目的
トシテ之ヲ企テタモノデアルト云フコト

ハ、證據上ニ於テ相當ノ場合ニ於テハ明ラ
カニ認識スルコトガ出來ヤウカト思フノデ
アリマスカラ、證據ノナイ場合ニハ是ハ已
ムヲ得ナイ話デ、證據ノナイモノヲ處罰ス
ル譯ニハ行キマセヌカラ、本案第一條ハ即
チ其點ニ於テ適用スルコトガ出來マセヌ、
他ノ法規ニ依ッテソレハ取締ルヨリ外ナイ
ノデアリマス、ソレカラ第三ニ左傾ガ進
マシテ、反動ガ來マスコトハ、御意見ノ通
リデアラウト思ヒマス、唯今日政治運動、
社會運動等ハ議會否認論ト云フコトハ耳ニ致
スノデアリマスガ、併シ其議論モソレ程進
ンダモノノヤウニハ思ハヌノデアリマス、
況ヤソレヲ更ニ越シテ君主專制政治ナドヲ
考ヘテ居ル者ハ全クゴザイマセヌ、將來サ
ウ云フモノノ起キタ場合ニハ、政體ト云フ
字ガアリマス、成程取締ガ出來マスケレ
ドモ、兎ニ角本法ハ今日ノ弊害ヲ除去イ
シマスル爲ニ制定イタサムト致スノデア
リマスカラシテ、政體ヲ削除イタシマシ
テ目的ヲ達シ得ル考ヲ有ッテ居リマス譯
デゴザイマス

○湯地幸平君 私ハ此第五條ニ付テチヨ
ト御尋ネシテ見タイト思ヒマス、第五條ニ
「金品其ノ他ノ財産上ノ利益」ト云フコト
益以外ニ、例ヘバ革命ヲ起シテ目的ヲ達シ
タラ御前ヲ此大ノ政府ノ大臣ニスルトカ、
斯ウ云フ位地ヲ與ヘルトカ、或ハ斯ウ云フ
名譽ヲ與ヘルトカ云フヤウナコトヲ餌ニシ
テ、現ニ過激主義ナドノ話ヲシテ居ルモノ
ハ、是ハ御間及ビノコトデアラウト思フ、
デ特ニ財産上ノ利益ト云フコトヲ言ハナイ
デ、「金品其ノ他ノ利益」ト云フコトニシテ
置イタナラバ、サウ云フモノノ廣ク行キサ
ウニ思フノデアリマスケレドモ、之ヲ特ニ
財産上ニ限ラレタト云フ御趣意ヲチヨト

伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山岡萬之助君) 御説ノ如ク
「其他ノ利益」ト云フコトニ致シマシタナ
バ……衆議院議員ノ選舉法ニハ是ガ書イ
テアリマスガ、解釋上ハ這入ルノデアラウ
ト思ヒマス、併シサウ云フ風ニ茲ニ廣ク規
定スルコトガ必要ナリトハ考ヘナカッタ
デアリマス、詰リ第五條ハ第一條ノ目的ヲ
達シマスル爲ニ多數ガ集合シ、協議ヲ爲シ
煽動ヲ爲スト云フコトニハ、資金ガ要ル
デアリマス、其資金ノ無イ時代ニ於テハ、
唯主義ノ研究、思想ノ研究ヲスル人達ノ寄
合ヒデアリマシテ、社會ニ向ッテ實行スル
云フコトハ、假ニ考ヘテ見タ所デナカ
困難デアリマス、ソレデアリマスカラシ
數年前マデノモノト云フモノハ、我國ニソ
レ程實際ノ問題トシテ危險ヲ感ズナカ
ノハ、ソコニアルノデアリマス、ソコデ第
五條ヲ置キマシタノハ、詰リ此目的ヲ達シ
マスル爲ニ資金ヲ準備スルコトガイカナ
イ、ソレダケ取締レバ宜シイト云フ觀念
デ、金品ノ供與ノ關係ガ取締レバ、宜イ
デアリマス、更ニ或ハ財産上ダケノ關係
ハ、之ヲ取締ルノガ相當ナリトシテ附加
マシタノデ、其以上ノ必要ハ認メナカ
ノデアリマス

○湯地幸平君 結社ヲ組織シタリ、其他色
色ナ革命ノ目的ヲ達スル準備ノコトニ
ハ、「金品其ノ他ノ財産上ノ利益」ガ要ル
デアリマセウケレドモ、ソレカラ更ニ進
行ク場合ニ當ッテハ、是ハ金錢上ノ問題
デハナイ、是ハ矢張り金錢以外ノ名譽トカ、職
務トカ云フヤウナコトヲ當テニシテ働カ
ルコトハ、露西亞ノ革命デ以テ大概御承知
デアラウト思ヒマス、ドウモ「其ノ他ノ財
上」ト云フコトハ要ラヌデ、「金錢其ノ他
利益」ト云フコトハ、是ハ將來適用上宜イ

ト思ヒマスケレドモ、是ハ意見ニナリマ
カラ、モウ申上ダマセヌ

○子爵大河内輝耕君 先程湯地君トノ問
御問答デ大分解タノデアリマスガ、「實行」
ト云フコトガ大部分ニ使ッテアリマスガ、
實行ト云フコトハ、之ニ依ッテ其意思ヲ推
測シ得ル事項ト云フヤウナルコトノ行爲ヲ
謂フノダト云フヤウナ御説明デアリマス
ガ、サウスルト云フト大變廣クナリマス
ガ、是ハドウ云フ意味デゴザイマセウカ、
チヨト御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山岡萬之助君) 其事ハ意思ヲ
推測シ得ベキト云フコトハ成程申上ダタ
モ知レマセヌガ、ソレハ唯言葉ノ使廻シ
時ニ申上ダタノニ過ギナイノデアリマシ
テ、第一條ノ一項ノ目的ヲ達スベキ事柄ハ
色ニアルノデアリマスガ、此實行手段ト云
フモノハ茲ニ舉ゲキレナイグラウト思ヒ
マス、例ヘバ要路ノ人ニ對シテ攻撃ヲ加
ヘルコトモソレデアリマセウ、其程度ニ於
テ、或ハ種類ニ於テ、是ハ色ニデアリマセウ、
サウ云フ行動ハ……明日斯ウ云フコトヲ
ラウト云フ協議ヲスレバ、茲ニ之ヲ罰ス
ルノデアリマス、ソコデ結社ト云フモノ
モ、モット進ンデ居ル行動デアルト云フ
トハ、唯今湯地君ノ仰セデアリマスガ、全
ク二條ハ其通りデアリマス、ズット進
モノヲ本條ニ依ッテ取締ラウト云フ場合
デアリマス、唯結社ガドウ云フ風ニナル
云フ御意見デアリマスガ、ソレハ矢張り實
行ヲ爲ス所ノ一ツノ形デアアル、斯ウ云フ
トヲ申上ダタニ止マリマスノデ、其説明
シテ、唯今御話ノヤウニ意思ヲ實行スル
ト云フコトガ、外界ノ行動カラ分ルト云フ
トニナレバ宜イト云フコトハ申上ダタノ
デアリマス、唯今特ニ申上ダマセウガ、其
第一條ノ事項ノ結果ヲ惹起スル爲ノ方法

リマスルト、其事柄が何處マデ距ッテ居ルトシマシテモ、凡ソソレニ必要ナル行動ナリト認メラルベキ限リハ實行デアル、斯ウ云フ風ニ御了解ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスとはハ不法ナコトデナクテモ宜シイデスカ、實行ノ行爲其モノガ、此法ニ觸レナイデモ、目的ガ是ノ爲ノ實行デアル以上ハ、矢張り實行ト看做サレルノデスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 適用デアルカ、不適用デアルカト云フコトハ、ソレハ別問題デ、第一條ノ事柄ガ既ニ犯罪トシテ認メラレルナラ、即チ私有財産制度ヲ否認スルトカ、況ンヤ國體ノ變革ニ：國體ノ變革ハ絶對ニ容スベカラザル事デアリマスカラシテ、其事ニ關スル方法デアリマシテ、サウ云フ事ヲシテ居ルト、即チソレ自體極メテ不都合ナルコトニナル譯デアリマスカラ、ソレデ之ヲ一ツツ離シテ研究シテ行キマスレバ、是ハ犯罪行爲デモアリマセウシ、犯罪行爲デナイコトモアリマセウカト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスと今朝ノ宣傳ト、是ト引掛ッテ參ルヤウニナリマスノデスカ、サウ致シマスと第一條ノ目的ヲ以テ宣傳スルト、ソレハ仰セノ如ク文章、或ハ演説ヲ以テ宣傳スル者ハ、治安維持法ニ依ッテ處斷サレマスガ、サウデハナクテ個人的ニヤル者ハ危險デナイカラ、是ハ罰シテ居ナイヤウニナリマス、サウスルト、ソレヲ假ニ實行デアルト致シマスレバ、實行ノ方ハ罰セラレナイ、實行ヲ宣傳シ：實行ヲ煽動シタ者ノ方ガ却テ重イ罰ニナルト云フヤウニ私ハ考ヘラレマスガ、其點ヲチヨツト：

○政府委員(山岡萬之助君) 煽動ト實行ト云フコトデゴザイマスガ、先刻例ヲ以テ既

ニ法案ノ實行ノコトヲ申上ゲマシタノハ、主トシテ暴行ノ事例ヲ取ッテ申上ゲタノデ、犯罪行爲デアリマスルト、實行行爲ヨリ進ンデ行ッテ、實行ヲ爲シタ者ハ刑法ノ法文ニ依ッテ罰セラレル、其相手方ノ方デアリマスカラ其實行ヲ爲シマシタ者ハ：之ヲ煽動シタ者ハ本法ニ依ッテ罰セラレマス、斯ウ云フ形ニナリマスノデ、其事ヲ申上ゲタノデアリマス、本法ニ所謂實行ト云フコトハ、犯罪實行ト云フ意味ト違ヒマス、本法ノ實行ト云フコトヲドウ解釋スルカト云ヘバ、本法ニ依ッテ解釋スルノ外ハナイ譯デアリマス、ソレデ第一條ノ目的ヲ達スル所ノ實行行爲デアルト認ムベキモノハ何デアルカ、斯ウ云フ風ニ解釋スル譯デアリマス、此實行ト云フモノハ、本體ハ結社ヨリモ進ンデ居ルト云フコトガ、先刻ノ質問應答デアアルノデアリマス、コ、ノ實行ト云フコトハ本案ニ依ッテ解釋シナケレバナラヌト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスと、共產主義ノ宣傳ヲ個人的ニ一人一人デヤル、サウスルト治安警察法ニ關ハルソレガ實行デアアルノデスカ、ソレハ實行デナイト考ヘラレマスガ、本法ニ依ッテ實行ニ這入ラナイカ、這入ルカト云フコトヲ：

○政府委員(山岡萬之助君) ソレハ這入りマセヌ、總テ三條ヲ比較研究シテ見ナケレバナリマセヌノデ、實行ヲ煽動シタト云フコトニナリマスカラ、其唯今御説明ノ方ノ煽動ト云フコトデアリマス、本法ニ於キマシテ實行ト云フノハ、ソレ以上ノモノデ、即チ實行ヲ煽動シタル程度ニ依ッテ、初メテ三條ノ適用ヲスル、斯ウ云フ程度ニ於テ單純ナル煽動デハアリマセヌ

○男爵田健治郎君 内務省ノ政府委員ニ御尋ネシタイノデスカ、近頃新聞紙上デ時々

見ルノデアリマスルガ、此勞働者ノ「デモンストレーション」デスカ、即チ行列ヲヤッタリスル時、革命ノ歌ヲ唄ッテ歩ク、ソレヲ警察官ガ止メルト云フヤウナコトヲ時々聞キマスル、所ガ私ハ革命ノ歌ト云フモノハ如何ナルモノカ知リマセヌガ、是ガ犯罪ニナルカ、ナラヌカト云フコトハ、判定ハ出來マセヌガ、内務省デハ定メテ、革命ノ歌ト云フモノヲ警察官ガ現ニ止メテ居ル位デアリマスカラ、御分リニナッテ居ルコトト思フノデアリマス、其革命ノ歌ト云フモノハ：革命ト云ヘバ殆ド國體ニ關スルヤウニ我々ニハ響ク、ソレハ一向詰ラヌモノデアッテ、國體ニ關スルト云フヤウナモノデナクニヤ結構デアリマスケレドモ、併ナガラ是ガ矢張り重大ナ意味ヲ含ンデ居ルモノデアルト云フト、是ハ容易ナラヌ事デ、斯様ニシテ行列ヲ作ッテ、其革命ノ歌ヲ調子ヲ合セテ行クト云フコトハ、煽動ニナルカ、ナラヌカ分リマセヌガ、先ヅ以テ承ハリタイノハ、其革命ノ歌ノ實質如何ト云フコトデアリマス、御分リニナッテ居ルナラ承ハリタイノデス、

○政府委員川崎卓吉君 ソレデハ之ヲ讀ミマスカラ速記ヲ：

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ速記中止

(速記中止)

○委員長(公爵二條厚基君) 速記開始

○田健次郎君 成ルベクナラバ、司法大臣カラ御答ヲ願ヒタイ、此第一條ノ「國體若クハ政體ヲ變革シ」ト云フ點ヲ衆議院デハ「若クハ政體」ト云フヲ削ラレテ、政府ハ之ヲ御同意ニナッタ趣キデアリマス、所ガ今マデノズツ立法例ヲ見テ見マスルト云フト、國體ヲ變革スルト云フ文字ハ今度初メテ出タ如クニ思ハレマスケレドモ、私寡

聞デ知ラヌデ居ルノカモ知レマセヌガ、茲ニ例ニ御出シニナッテ居ル所ヲ見テモ、國體ト云フ文字ハ無イノデ、唯、詔勅ノ中ニ國體ト云フ文字ハアルニハアルヤウデアリマスガ、是ハ又ナッテ法律上ノ文字トハ違ッテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ、政體ノ方ハ幾ラモアル、即チ出版法ノ中ニモ政體ヲ變壞スト云フコト、政體ヲ變壞シ、國憲ヲ紊亂ス、ソレカラ、新聞條例ノ中ニモ政體ヲ變改シ、又ハ朝憲ヲ紊亂シ、又刑法ノ方デハ其他朝憲ヲ紊亂シタル所ガ、今度ハ此政體ノ方ガ削ラレテ、今マデ立法例ニ無イ、法律ニハ餘リ見エヌ所ノ國體ト云フノガ現ハレタ、所ガ、此國體ト云フモノハ、所謂、憲法第一條ノ統治權ト云フ御説明ノヤウニ承ハリマシタ、サウデアリマセウ、デ先ヅ其方ハ今マデノ法律デハ何ニ這入ッテ居ッタカト云フト、恐ラク朝憲ヲ紊亂ス、朝憲ヲ紊亂スト云フコトハ廣イ言葉デアリマセウカラ、必シモ國體バカリデナイカモ知レマセヌガ、所謂、憲法ヲ變改スルト云フヤウナコトモ、或ハソコニ這入ルカモ知レマセヌガ、變改ト云ヘバ語弊ガ有ル、憲法ニ背クヤウデアリマスガ、兎ニ角、廣イ言葉デアリマセウガ、恐ラク國體ト云フコトハ、此朝憲紊亂ノ中ニ今マデノ法律ハ含ンデ居ッタカノ如ク私ハ思フノデアリマス、ソレデ、此國體ト云フコトニ付テハ、寧ろ朝憲ト云フ文字ヨリモ明カニ是ハ又國體ト云フ文字ヲ御用キニナッタ：先ニ過激取締ノ案ガ出マシタ時ニ、其時ニモ矢張り朝憲トアッタノデアリマセウ、ソレヲ修正シタノデ、ソレヲ國體ト云フヤウニナッタノデアリマスカラ、是ハモウ私ノ論ハ無イノデアリマス、タマ政體ヲ變革スト云フコトニ付テハ、御説明ニ依ルト、所謂、政體ト云フノハ、立憲政治トカ、或ハ

代議政體トカト云フ、三權分立トカ云フヤ
ウナ意味ダト御説明ガアリマシタ、勿論、
三權分立ト云フコトハ、私ハ寧ロ法律語デ
ハナカラウカト考ヘテ居ル、自分デハ、成
程、學者ハ三權分立ト云フコトヲ頻リニ
稱ヘテ居リマスガ、日本ノ法律語ナリ、憲
法ナリ、若シハ公法ナリノ上ニ付テ、三
權分立ト云フ語ハ無イト思ヒマス、ソレハ
何レニシテモ、兎ニ角、政體ト云フコト
ハ、國體以外ノ所謂代議政體デアラウト
モ、ト云フコトヲ御説明ニナツタ、ソレハ
ソレトシタ所ガ、ソレガ削ラレテ居ル、是
ハ衆議院デハナカ、偉イ極端ナ例マデモ
出テ、サウシテ、餘程、御説明ニモシニク
イヤウナ例マデモ引出シテ、イロ、議論
ガ起ツタ如クニ承ハッテ居リマスガ、サウ
フコトデアッタノデアリマセウ、併シ、極
ク虚心平氣ニ此立法上ノ見地カラ言フタナ
ラバ、即チ今マデニモ、政體ト云フ文字ハ
アルノデアリマスカラ、法律ガソレデアリ
マスカラシテ、矢張りアツタ方ガ宜イノデ
ヤナイカ、斯ウ云フ思想上ニ關スルコト
ハ、國體變革モ無論宜クナイ、併ナガラ、
又政體ノ變革ヲ主張スルト云フコトハ、無
論宜クナイ、詰マリ云ヘバ、立憲政體ヲ專
制政府ニスルト云フヤウナコトガ、是ハ國
體ニ非ズシテ政體ノ變更デアラウト思ヒマ
ス、サウ云フコトハ餘リ宜クナイト思フ、
デアルカラ有ツタ方ガ、ドウモ宜サウニ
私ハ考ヘテ居ツタ所ガ、是ガ削ラレタ、ソ
コデ、政府ハ御同意ニナツタ、或ハ此理論
上ニハ有ツタ方ガ宜イト、ガ、併ナガラ、
政治上デハ、サウ云フコトバカリモ言ッテ
居ラレヌ、政治上デハ兩院ガ府案ヲ審議
シテ、サウシテ、兩院ノ協賛ヲ經ナクチャ
立法ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデア
リマスカラシテ、所謂、俗ニ言フ折合ト

云フコトモ必要ナコトナンデアルカラ、ソレ
ガ故ニ、或體面ヲ維持シナイト喧マシクヤ
テ潰レテシマツチャ困ルカラト云フヤウナ
工合デ、妥協的ニ折合ナサレタト云フコト
ハ私ハ是非難シナイ、決シテ又ソレヲ公
然仰シヤルト云フコトモ、私ハ政府トシ
テハ爲サレ惡イト思フカラ、ソレヲ其通リ
ダト云フコトヲ伺フコトハ、私ハ強イテ求
メルノデヤアリマセヌガ、要スルニ、私ハ
原案ノ方ガドウモ宜カッタラシク思フガ、
ソレガ削ラレタト云フコトハ、何ダカ遺憾
ナヤウナ感ゾスルノデアリマスガ、政府
ハ矢張り遺憾ニ思ウテゴザルデアリマセウ
カ、若クハ矢張り、是ハ惡カッタ、政體ヲ
入レタノハ惡カッタ、衆議院ガ氣ガ付イタ、
削ルト云フ方ガ結構ダカラ同意シタト云フ
ヤウナ意思デアルカ、其邊ヲ承ハリタイノ
デアリマスガ、ドウゾ、極ク御腹藏ナク御
説明ヲ願ヒタイ
○國務大臣(小川平吉君) 唯今ノ御問ハ御
尤モナ御問ト考ヘテ居リマス、ソレデ、腹
藏ナイ所ヲ申上ダマスト、本法ハ先ノ過激
社會運動取締法ト比ベテ見マスルト云フト
餘程、狭クナツテ居リマス、前ノ方ニハ無
政府主義、若クハ共產主義、其他ニ關シ
テ、斯ウ云フ廣イコトデアル、朝憲ヲ紊亂
スル事項ヲ宣傳シ又ハ云々トアリマシタ、
非常ニ廣カッタ、從テナカ、議論モ喧マ
シイシ、貴族院デモ非常ニ論難ノ末ニ根本
的ノ修正ガ有リマシテ、衆議院デ解決シタ
譯デアリマスガ、衆議院デモ非常ニ反對ノ
空氣ガ濃厚デ、殆ド成立ノ見込ガ無イト云
フ程デ、丁度、湯地君ナド御關係ニナツタ
問題デアツタ、其後、段々研究ヲ致シマシタ
結果、ドウモ成ルタケ廣クヤル方ガ宜シイ
ト思フ點モアルノデアリマスケレドモ、併
ナガラ、餘リ廣クヤツタ爲ニ、其解釋ガ不

當ニ擴張セラレルト云フヤウナ虞レガ有
リ、又一般ノ國民ノ輿論ガ餘リ之ニ反對ス
ルト云フコトデアツテハ、却テ面白クアル
マイ、折角、此大事ナ法律ヲ出スニハ矢張
リ多少國民ガ之ニ後援スルト云フ風ニシ
テ、法律ノ威信ノ益、増スヤウニシタイト云
フヤウナ考ヲ以テマシテ、大體先ヅ色モ廣
ク規定ヲシタイト云フ希望ハ先ヅ抑ヘマシ
テ、サウシテ、狭ク、且ツ極メテ目下緊要
トスル所ノ、此分ダケヲ：：明力ナ分ダ
ケニシタイト云フヤウナ方針デ、今回提案
シタヤウナモノヲ作リマシタ、サウシテ、
國體、若クハ政體ト云フニツニシ、一方
ハ私有財産制度ノ否認ト、斯ウヤリマシタ
所ガ：：實ハ打明ケテ御話ヲシマス、政
體ト云フコトニ付テハ出ス時ニモ相當議ガ
有リマシタ、アリマシタト申シマスルモノ
ハ、政體ト云フコトガ、ナカ、是ハ意味
ガ餘程ムツカシイ、實際ニ於テ、今日ノ政
體ハ立憲君主政體デアリマスガ、之ヲ變ヘ
ルト言ヘバ、然ラバ君主專制ノ政體ヲヤル
カ、君主專制ノ政體ト云フナラバ、國體ノ
方ニハ含マズシテ、政體ノ變更デアル、ソ
ンナラバ、是ハ事實ニ於テ今サウ云フモノ
ハ一ツモ無イ、又今後ニ於テモ近キ將來ニ
於テモ有ルベキヤウニハ見エナイ、然ラバ
共和政體ニシタラドウカ、共和政體デア
ルト國體ノ方ニ觸レテ行ク、大權ノ所在ガ動
クノデアリマスカラ、統治權ノ本ヲ動カス
ノデアリマスカラ、國體ノ方ニ觸レテ來ル
カラ、政體ト云フ文字ガアル必要ハナイデ
ヤナイカ、ソコニ殘テ來ルノハ現在ノ立
憲君主政體ヲ：：所謂、議會否認ト云フコ
トヲ唱ヘル者ガアリマスカラ、之ダケヲ先
ヅ事實トシテハ罰スルコトニナル、ソコ
デ、併シソレデモアル方ガ宜カラウト考ヘ
テ出シマシタノデス、然ルニ段々衆議院デ

研究スル所ヲ聽イテ見マス、ト云フト、ドウ
モ、此政體ト云フハナカ、ムツカシイ、
即チ三權分立ト云フヤウナコトガ出マシ
テ、政體ト云フコトヲ分析シテ行クト云フ
トサウ云フモノニナル、然ラバ裁判所ヲ無
クスルト云フ論ハ、ドウナルカ、狭イ意味ニ
於テ行政府ヲ無クスルト云フ意味ハドウナ
ルカ、即チサウ云フコトモ有リ得ル、或ハ
又モウ少シ廣クシマシテ、貴族院ヲ廢スル
ト云フノハドウナルカト云フ風ニ、段々議
論ガ出テ參リマシタ、ソレデ政府ノ考ハ、
先刻、田男爵モチヨット御述ベニナツタヤ
ウナ譯デ、普通ニ先ヅ政體ノ根本ト云ヘバ、
所謂代議政體デアルカラ、民選議會ノ制度
ト云フモノヲ壞スト云フコトハイケナイ、
其他ノモノハ變革ヲシテモ、多ク立法院ト
云フモノ、存在ヲ認メテ置キナガラ、此法
律ヲ行フ所ノ裁判所ヲ無クスル所ノ議論ハ
實際ニ於テ無イノミナラズ、是ハ道理ノ上
カラモ有リ得ナイデハナイカ、故ニ根本ノ
議院制度ヲ否認スルコトダケデ宜シイト云
フ考デアル、現實、又日本ニ於テ今日取締
ラナケレバナラヌ所ノ事柄モ、矢張り議會
否認ト云フコトガ動モスレバアルカラ、是
ダケヤルノダト云フヤウナ政府ハ趣意ヲ以
テ立案ヲシテ居リマシタガ、段々ト疑問モ
出テ運用ノ上ニ付テモ困ルカ知レナイ、然
ラバ諸君之ヲ削ツタラドウデアルカ、目今、
日本ノ國情ニ於テ取締上非常ニ困ルト云フ
コトヲ段々見マス、ト云フト、先刻モ
申シマス通り、現ニ今日國家ノ憂トスル
所ハ、即チ議會制度ヲ否認スルト云フコト
ダケガ、今日憂トスル所デアツテ、別ニ此
君主專制ノ政體ヲ建テヤウト云フヤウナコ
トハ實際ニ於テ今日少シモナイノデアリマ
スカラ憂デナイ、然ラバ議會否認ト云フコ
トハドウデアルカト言ヘバ、單ニ議會否認

ト云フヤウナ議論ヲスル者モアリマスケレドモ、今日マデ恐レル所ノモノノ中デ議會否認ヲ唱ヘル人ハ、是ハ矢張り無政府主義ニ非ズンバ、共產主義ヲ唱ヘル者ニ多イ、無政府主義者ガ其無政府主義ヲ實行スル一ツノ方法カ、又人ヲ説ク方法トシテ議會否認ト云フコトヲヤツテ居リ、共產主義者ガサウ云フコトヲヤルトニ云フヤウナコトデアッテ、單純ニ議會ガモウ役ニ立タヌカラ、貴族院モ衆議院モ腐敗シテ居ルカラ、役ニ立タヌカラ、コンナモノヲ廢シテ、直接行動ヲシロト云フヤウナ者モ偶ニハアリマスケレドモ、ソレハ今日、サマデ誠ニ國家ノ爲ニ深憂大患トシテ特別法ヲ設ケテヤラナケレバ、ドウシテモ相成ラヌト云フ程ノコトデモナカラウ、多クノ奴ハ一步進ンデ行ケバ、矢張り團體ニ觸レル、或ハ共產主義ニ觸レルト云フコトニナルノデアルカラ、ソコマデ來ル奴ヲ防イダラ先ヅドウカ行ケヤウ、既ニ此腹藏ナク申上ゲマスレバ、此政體ノ……モウ一ツ前ノ原案ニハマダ色ニナ事ガアツタ、兵役制度ヲ否認スルトカ、納税制度ヲ否認スルトカ云フヤウナ案モアリマシタ、サウ云フモノモ成程或モノハ必要ト云フ迄ハ行カヌガ、動モスレバサウ云フモノモアツテ今日取締ル方ガ便利トモ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、段々サウ云フモノヲ懲張ツテ出シテ來マスルト云フト、ナカ……是ハドウモ其衆議院ノ通過ナドモ面倒デアリマセウシ、併シ唯通過ノ面倒ト云フヤウナコトニ依テ之ヲ取捨スル譯デアアリマセウケレドモ、斯カル特別ノ法規ハ極メテ狭イ最モ恐ルヘキモノダケヲ規定シテ、國民ニモ注意シテ貰フト云フ方ガ却テ宜カラウ、斯ウ云フ色ニ何デモカデモ一緒ニ規定スルヨリ、既ニ議會ニ出ス時分ニサウ云フ餘計ナモノハ削ツテシマッタ方ガ宜

イト云フモノモアリマシタ、ソレ等ノ事情カラ考ヘテ見テモ、モウ一ツ殘テ居ル所ノモノヲ削ラウト云フノデアリマスガ、之ヲ十數日掛カテ多數ノ衆議院ノ人達ガ詮議ヲシテ大多數デ削ラウト云フコトニナタノデアリマス、然ル以上ハ政府モ衆議院ノ大多數ノ議論モ意見モ尊重ヲシナケレバナラヌ、尊重ト云フノハ形式バカリデハナイ、サウ云フ有力ナル機關ガサウ云フ意見ヲ持ツテ居ルト云フコトナレバ、ソレヲシモ反對スルト云フコトデハナカッタノデアリマス、ソレナラバ之ヲ取ツテシマッテ一番主モナルモノダケデヤツテ、今日ノ本當ノ深憂大患ハ削ツテモ防ゲルト云フヤウナ、斯ウ云フ意味デ同意イタシマシタ、單純ニ政略上ト云フ意味デモナイ、然ラバト云フテ全然其方ガ宜イト云フ趣意デモナイ、サウ云フ事情デ同意イタシタノデ、成ルベク一ツ御同意ヲ願ヒタイノデス、又是デ行ケヤウト思フノデアリマス

○男爵田健治郎君 チョット其點ニ付テ伺ヒマスガ、御同意ニナッタノガ必ズシモイケンイト云フ意味デ私ハ御尋ネシタノデハゴザイマセヌガ、併シ有ルト無イト比ベテ見タナラバアツタ方ガ宜カラウト私ハ感じテ居ルノデアリマス、ト云フモノハ或ハ之ヲ又入レナクチャナラヌヤウナコトガ出テ來ハシナイカト思フ、ソレハ兩點アル、一ツデハ所謂反動ノ勢力ト云ヒマスルカ、是ハ往々ニアルコトデ、今日デモ隨分此邊ヲ示威運動ナドヲシテ歩ク何ガアルノデス、詰リ亡國普選ナド、云フ「ビラ」ヲ配リ歩ク人ガアル位デアリマス、又サウ云フコトハ往々アルコトデアリマスカラ、サウ云フコトモアリマセウシ、又最モ恐ル、方ハ其方ヨリモ寧ろ今日ノ狀態ニ於テハ眞ノ議會否認ト云フヤウナ方ノ側ノモノ、ソレハ現ニオ

隣ノ支那デハモウ此無政府主義ヲ持ツテ居ル秘密結社デアリマセウガ、支那ノ秘密結社ハソレニ止マラヌ、割キ出シ同然デアアル、秘密ナドト云フテ秘密デハナイ、誰ニモ分テ居ル、其趣意ナドヲ見マスト、議會ヲ否認スルコトハ勿論ノ話、公ケト云フコトニ付テノ職務ハ殆ンド全部ヲ否認スルヤウナ宣傳ヲ殆ド全部ヤツテ居ル、支那ハア、云フ國デアリマスカラ、支那ニサウ云フコトガ行ハレルカラ、ソレガ日本ニモ直グニ行ハレルト云フコトヲ憂ヘルモノデアリマセヌケレドモ、今日ノヤウニ人心ノ動搖シテ居ル場合ニ於テハ詰リ政府ヲ否認スルノハ無論ノ話デセウガ、議會ヲ否認スル、軍隊ヲ否認スル、警察ヲ否認スル、辯護士ヲ否認スル、裁判所ヲ否認スル、サウ云フヤウナ公ケノ機關ハ殆ド否認スルヤウナ趣意ヲ發表シテ、支那デハ隨分宣傳シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ矢張り畢竟事ヲ好ム者ハサウ云フヤウナコトヲ眞似スル奴モ無イトハ言ハレナイ、矢張りソレデアルカラ私モ無イヨリハ豫メアツタ方ガ宜イト考ヘテ居ッタノデアリマスケレドモ、併ナガラ政府デモ元ト原案ニ御出シニナッタ位デアリマスカラ削ツタ方ガ宜イト云フコトデナイ、又多數ノ希望ヲ入レルト云フコトデ同意シタト云フ趣意ノ御説明デリマスカラ、今日ハ御尋ネハ是ヨリハ致シマセヌ

○男爵黑田長和君 チョット一ツ伺ヒマスガ、國體ヲ變革スト云フコトハ我ニ取ツテ非常ナコトデ、是ハ最モ非常ナ最極端ナコトデアリマス、然ルニ私有財産制度ヲ否認スルト云フコトハ是ハ餘程趣ノ異ナッタコト、考ヘルコトガ出來ルト思ヒマス、然ルニ其罪ニ於テ何レモ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處スト云フコトニナツテ居リマス、

是ハ輕重ノ差別ガ茲ニ附イテ居ラヌト云フコトハ私ハ少シ如何デアラウカト云フ考ヲ起スノデアリマス、此點ニ付テ御考ヘニナッタコトハ、立法ノ當時ハナカッタノデアリマスカ、如何デアリマスカ、ソレカラ私有財産制度ヲ否認スルト云フノデアリマスガ、是ハ所謂近頃唱ヘラレル共產主義ヲ防止スル爲ニ書カレタ言葉デアラウト思ヒマスケレドモ、例ヘバ獨逸ノ「ビスマルク」時代ニ國家社會主義ト云フモノヲ以テ政治ノ根本方針トシテ、是ハ極端ニ其國家社會主義ナルモノヲ發達サセレバ、即チ私有財産制度ト云フモノヲ認メナイ所ニ迄至ルカモ知レナイ、サウシテ私有財産ヲ認メテ居ル部分ハ是ハ例外デアリマス、大體ニ於テハ私有財産ト云フモノヲ認メナイト云フ制度ニナルダラウト思ヒマスガ、今假ニ茲ニ極ク戰前ノ日本ハドウシテモ國家社會主義ヲ以テ根本方針トシテ進マナケレバ到底行ケナイト云フ、極クサウ云フヤウナ善意ノコトヲ爲ス者ガアルト致シマスレバ、是ハ矢張り此一條ニ依テ國體ヲ變革スト云フヤウナ非常ナコトト同ジヤウニ之ヲ見テ罰スルト云フヤウナ結果ニナルダラウト思ヒマスケレドモ、其處ラノ點ハ如何デアリマスルカ、其二點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(小川平吉君) 第一ノ方ノ御問ヒハ衆議院デモ委員會本會議等ニ於テ出タコトデアリマス、是ハ其國體ノ變革ト云フモノト私有財産制度ヲ否認ト云フコトダケヲ較ベマシタナラバ、是ハ國體ハ絶體ノモノデアリマスルカラ非常ナル重イ譯デアアル、ソレヨリモ片方ノ方ハ輕イト云フコトモ出來マスデセウ、尤モ實際ニ於テ共產主義ガドウデアルト云フコトハ、御承知ノ通りハモウ必ズ以テ國家ヲ破壊シ日本ノ皇室ヲ破壊スルト云フコトノ當然ノ歸結ト

是ハ輕重ノ差別ガ茲ニ附イテ居ラヌト云フコトハ私ハ少シ如何デアラウカト云フ考ヲ起スノデアリマス、此點ニ付テ御考ヘニナッタコトハ、立法ノ當時ハナカッタノデアリマスカ、如何デアリマスカ、ソレカラ私有財産制度ヲ否認スルト云フノデアリマスガ、是ハ所謂近頃唱ヘラレル共產主義ヲ防止スル爲ニ書カレタ言葉デアラウト思ヒマスケレドモ、例ヘバ獨逸ノ「ビスマルク」時代ニ國家社會主義ト云フモノヲ以テ政治ノ根本方針トシテ、是ハ極端ニ其國家社會主義ナルモノヲ發達サセレバ、即チ私有財産制度ト云フモノヲ認メナイ所ニ迄至ルカモ知レナイ、サウシテ私有財産ヲ認メテ居ル部分ハ是ハ例外デアリマス、大體ニ於テハ私有財産ト云フモノヲ認メナイト云フ制度ニナルダラウト思ヒマスガ、今假ニ茲ニ極ク戰前ノ日本ハドウシテモ國家社會主義ヲ以テ根本方針トシテ進マナケレバ到底行ケナイト云フ、極クサウ云フヤウナ善意ノコトヲ爲ス者ガアルト致シマスレバ、是ハ矢張り此一條ニ依テ國體ヲ變革スト云フヤウナ非常ナコトト同ジヤウニ之ヲ見テ罰スルト云フヤウナ結果ニナルダラウト思ヒマスケレドモ、其處ラノ點ハ如何デアリマスルカ、其二點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(小川平吉君) 第一ノ方ノ御問ヒハ衆議院デモ委員會本會議等ニ於テ出タコトデアリマス、是ハ其國體ノ變革ト云フモノト私有財産制度ヲ否認ト云フコトダケヲ較ベマシタナラバ、是ハ國體ハ絶體ノモノデアリマスルカラ非常ナル重イ譯デアアル、ソレヨリモ片方ノ方ハ輕イト云フコトモ出來マスデセウ、尤モ實際ニ於テ共產主義ガドウデアルト云フコトハ、御承知ノ通りハモウ必ズ以テ國家ヲ破壊シ日本ノ皇室ヲ破壊スルト云フコトノ當然ノ歸結ト

ナルノデアリマスガ、併ナガラ私右財産制
度ヲ不認スルト云フコトダケ之ヲ國體ダケ
ニ較レバ、是ハ非常ニ重イ輕イガアル、
國體ニ至テハ絕對無上ノモノデアアルコト
ハ申ス迄モナイ、故ニ若シ直接ニ此國體ヲ
壞スト云フコトト、私有財産制度ヲ壞スト
云フモノヲ罰スル場合デアッタナラバ、是
ハ無論一緒ニ並べルト云フコトハ非常ニ輕
重ノ別ヲ混同スルコトニナルコト思ヒマ
スガ、本條ノ趣意ハサウデハナイノデアリ
マシテ、度々見ハ政府委員カラモ申上ゲタ
譯デ、國體其モノヲ壞ス者ヲ罰スルノデハ
ナイ、私有財産制度其モノヲ壞ス者ヲ罰ス
ルノデハナイ、斯ウ云フ趣旨カラモ非常ニ
大切ナルモノデ、國家社會ノ根本ノ點カラ、
例ヘテ申セバ是ガズト一番ノ與ノ院ニ據
テ居ル所ガ國體デアアル、ソレカラ又其次
次ノ間デモ宜シウゴザイマス、左ノ次ノ
間位ニ居ル奴ガ私有財産制度ト云フ、餘程
此區別ガアリマスアレドモ、兩者何レモ非
常ニ大切ノモノデアッテ、國ノ爲ニ社會ノ
爲ニシテ斯方ニ近附イテ來テハ困ル、故
ニ之ヲ左ノ間マデ來ナイ中ニ、庭マデ來ナイ
中ニ、門前ニ於テ喰ヒ止メヤウト云フノガ
木案ノ趣意ナリ、先刻モ山岡政府委員ヨ
リ述べラレマシタル通り、ズツ其豫備ノ又
豫備ノヤウナモノマデモ處罰シヤウト云フ
是ハ非常ニ特別ノ立法デアリマス、故ニ之
ヲ門前デ喰ヒ止メル、即チ唯人ト相談シタ
トカ、ヤレ煽動シタトカ、誠ニ豫備ノ又豫
備ノヤウナコトデアリマスルガ、ソレニ大
變重イ刑罰ヲ科スルト云フ譯デアリマス、
是ハ何ノ爲デアアルカト云ヘバ即チ事柄ハ非
常ニ重イ事柄マデ段々ト進ンデ行ク虞レガ
アルカラシテ、門ノ前デ喰ヒ止メナケレバ
ナラヌ、協議トカ、煽動トカ云フコトデ、
輕イコトデモ喰ヒ止メナケレバナラヌト云

フ其程度ハ同ジデ、私ハ門前ニ於テ喰ヒ止
メナケレバナラヌ、協議モイカナイ、煽動
モイカヌ、之ヲ若シ喰ヒ止メラレヌナラバ、
中ヘ這入ッテカラハ洪水ノ流レルガ如クニ
落チ込ンデ來ルカラ玄關ニ入ッテハ喰ヒ止
メガ附カヌ、斯ウ云フ譯デ門前デ喰ヒ止メ
テ、極メテ輕イ事柄ヲ重ク罰スルト云フ
上ニ於テハ同ジコトデアリマス、故ニ此同
ジ所ニ規定シタト云フコトニ過ギナイノデ
アリマス、其一番與ノ院ノ方ハソレハ重イ
輕イノ違ヒハアルノデアリマスガ、其今日
罰シヤウト思フ事柄ハ此輕イ程度ニ罰ス
ル程度ハマア同ジト云フ趣意デアアルノデ
アリマス、ソレカラ第二ノ細問ヒデゴザイマ
スガ、是モ例ヘバ、「ビスマルク」ノ國家社
會主義ト云フモノハ是ハ無論差支ナイコト
デアアル、本案ノ取締ラウト云フノハ前ニモ
御述ベニナリマシタ如ク、大體此所有權ト
云フモノヲ全ク無視シテ私有財産制度ヲ否
認スルノデアリマス、個人ノ所有權ヲ全然
無視シテ掛ッタモノデアリマスルカラ、所有
權ノ制度ヲ變更スル、或ハ甲所有權ヲ乙ノ
方ヘ移ストカ云フ制度ノ變更ニ關スルコト
ハ無論之ニハ這入ラヌノデ、根本カラ之ヲ
認メナイト云フコトダケヲ罰スルノデアリ
マスカラ、今ノ此所有權ノ改良デアルトカ、
政府ノ改革トカ云フ其コトハ一向差支アリ
マセヌノデ、ソレ等ノコトハ本案ニハ無論
這入ラナイ積リデアリマス

ルダラウト思フノデス、サウ云フモノハ無
論認メテ、之ニハ加ラナイモノデアアルト云
フコトニナリマス、其取捨ト云フモノガ
政府ノ勝手ニナリ範圍ガ非常ニ廣クナルト
思ヒマス、ソコニ私ハ其一つノ弊害ハ起リ
ハセヌカト思フ、此斯ノ如キ單行法ニ於テ、
斯ウ云フ法案ガ出ルト云フコトハ、人ノ自
由ヲ束縛シヤシナイカト云フヤウナコトニ
於テ國民ノ心ヲ非常ニ脅威スル、實際脅威
スルニ：實際内容ニ於テハソレ程ノモノデ
ナクテモ何トナク此脅威ヲ感ゼシムルト云
フ所ニ、本案ハ非常ニ危險ガアルノデアリ
マス、提出スルノデモ餘程心ヲ用キナケレバ
ナラヌト云フ所ガアルノデアリマスカラ、
何カ非常ニ危險ガナクテハ、非常ニ法律的
ニ決、タコトガナイデハ此場合ハ罰シナイ、
此場合ハ此法律ニ觸レルト云フコトガ法律セ
ラレナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマ
ス、今ノヤウナサウ云フ程度ナラバ：サ
ウ云フコトナラ、常識ニ於テ危險ハナイカ
ラ、罰スル必要ハナイト云フヤウナ常識論
ガ交リ得ラレルト非常ニ脅威ヲ感ズルコト
ニナリハシナイカト、斯ウ思フノデアリマ
ス、ソコハ私ハ斯ウ云フヤウナ法律ニ付テ
ハ非常ニ大事ナコトデアアルト思フノデアリ
マスカラ、何トカモウ少シ法律的ニ區別ガ
出來ナイモノデアアラウカ、私有財産制度ト
云フモノヲ否認スルト云フ場合ニ於テモ、
必ズシモ惡イ制度ヲ：惡イ心デ必ズシモ
考ヘタモノトハ見ラレナイ場合ガ、私ハ想
像ガ出來ルト思フ、サウ云フ場合ニハソレ
ハ善意デアアルカラ罰スル必要ハナイト云フ
コトニナリマス、其取捨ガ即チ罰スルト
カ罰シナイトカ云フコトノ境目ガ其時ノ政
府ノ自由ニ屬スルト云フコトニナルト、脅
威ヲ感ゼシメルヤウニナリハシナイカト
云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、其點

ハ今ノ御説明デハ少シ不安ヲ感ズルノデア
リマス
○國務大臣(小川平吉君) 御説デゴザイマ
スルガ、私ノ考ヘデハ少シモ其不明瞭ナコ
トモナケレバ、又脅威モ感ズルコトハナイ
カト考ヘテ居ルノデアリマスガ、社會主義
トカ共產主義トカ云フト、ナルホド是ハ色
色感ヒヲ生ズル點ガアラウト思ヒマス、殊
ニ國家主義トカ云フ事柄ハ、私共國家社會
主義ト云フモノハ私有財産制度ヲ否認シ
テ、決シテ所有權ヲ根本カラ破壊スルモノ
トハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、ソレハ色
色ヤリ方ニ依テハ或ハ色々ノ弊害ガ出テ參
ルノデアリマセウ、故ニサウ云フコトノナ
イヤウニ、サウ云フコトノ生ゼザラムガ
爲ニ之ヲ法律的ニ書イテ、私有財産制度ト
云フモノヲ認メナイ、即チ個人ノ所有權ト
云フモノヲ絕對ニ根本カラ認メナイノデア
リマスカラ、此所有權ト云フモノハ、此處ニ
申ス迄モナク隨分人類ノ此ノ古ク始タ原始
時代ヨリ所有權ト云フモノガアッタカラシ
テ、人類ノ文化ト云フモノハ進歩ヲシテ來
タノダラウト思フ、詰リ子孫ノコト迄モ考
ヘテ競争モスルシ勉強モシタト云フコトデ
進歩ヲシテ來タノデアリマスカラ、今日デ
モ所有權ト云フモノハ國家ノ此刑法デモ民
法デモ大部分ハ皆所有權ノ保護ト生命財產
ノ保護デアッテ、其財產ヲ露西亞見タイニ
根本カラ無クシテ仕舞ウツ云フノデスカ
ラ、是ハモウ非常ニモノデ根本カラ認メナ
イノデアリマス、私有財産制度ヲ否認ト云
フコトニナッテ來マスト云フト、ソレヲ
指スノデアリマス、例ヘバサウデナクシテ
全國ノ土地ヲ國有ニスルトカ、山林ヲ國有
ニスルトカ、電氣トカ鐵道ヲ國有ニスルト
カ致シテモ、或ハ又富ノ偏輕、偏重ヲ防グ
爲ニ法ヲ拮ヘテサウシテ個人ノ所有權ヲ或

ル所へ分レテ居ルモノヲ一總ニ集メルトカ、云フコトモアリマセウ、ケレドモ、ソレハ所有權ヲ認メテカラサウシテカラ此財產ノ制度ヲ變更スルコトニ過ギナイ、甲ノ所有權ヲ乙ニ移スノデ、所有權ト云フモノヲ無視スルモノデモナイ、ソレニ對シテ相當ノ賠償金ヲヤリ公債證書ヲヤルトカ云フコトニナリマスレバ、少シモ所有權ノ否認ハナラヌカラ、本法ニハ這入ラヌノデアリマス、サウデナクシテ個人ノ財產ヲ持つコトハ許サナイナルト、皆是ハ取上ゲルコトニスルカ何カデナケレバ出來ル譯ノモノデナイ、其結果個人ノ所有權ト云フモノハ認メラレナイコトニナル、如何ニモドウモ人ノ身ノ廻リノモノ迄持タセテハナラヌカラト云フコトニハナラヌカラ露西亞ノヤウニ身ノ廻リノ物ダケヲ持タセマシタケレドモ、其主義トシテハ其個人ノ所有權ヲ認メナイ、デアリマスルカラアレハイケナイ、斯ウ云フ譯デ、根本的ニ社會ガ崩レテ什舞ノダカラソレヲ罰スルノデハアルケレドモ、私ハ事柄ハ明瞭デアッテ餘リ疑ハナイト思ヒマス、脅威サレノハ、共產主義者トカ無政府主義者等ハ脅威モサレマセウガ、其主義ヲ有タヌ者ハ、今個人ノ所有權ヲ認メ、愈重スル觀念ノアル者ハ、ハットモ恐ル、ニ足ラヌモノデアラウト思フ、是ハ社會政策トシテ、人類ノ文化ヲ進メ幸福ヲ増進スル爲ニハ是ハ大勢分レテ有テ居ルコトハ一總ニ集メヤウデヤナイカト云フテ集メルノモ、相當ノ方法ヲ持つテ、即チ今日ノ所有者ニ對シテ賠償金ヲヤッテ、其賠償ヲスルト云フ分ニハヤッテモナットモ差支ハナイ、憲法ニ於テモソレハ許サレテ居ル、ソレヲ根本カラ否認スルト云フコトニナリマスルト、ソレヲ認メマセヌカラ、何デモ大勢ノモノヲ分捕ッテ仕舞フ、力デ取ッ

テ仕舞フト云フノデスカラ、ソレガ惡イト云フノデス、我ハドウモ何等大シタ疑點ハ起ラナイヤウニ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ私ノ考ガ違ッテ居ルノカモ知レマセヌ
○男爵黑田長和君 此法律ノ目的ハ唯今ノ御説明ニ依リマスト常ニ露西亞ノ共產主義ト云フヤウナモノヲ始終念頭ニ置イテ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ風ニ無論御感ジニナルコトダラウト思フ、併ナガラ唯今御話ニナッテヤウニ、私有財產ヲ認メナイナント云フヤウナコトニナレバ、ソレハ暴力ニ依ッテ之ヲ取上ゲルトカ何トカ云フコトニナルダラウ、是ハ無論イケナイカラ、サウ云フ風ニ御想像ニナルガ、私ノ申スノハ、理想トシテ萬世一系ノ天皇ノ下ニ於テ總テノ財產ヲ國家ノ財力ヲ集メテ、サウシテ國家社會主義ヲ造ルト云フヤウナ理想のモノヲ、非常ナ長イ未來ニ理想ヲ置イテ、サウシテ徐ロニ之ヲ宣傳スルト云フヤウナ風ニ學者の計畫ヲスルト云フヤウナコトニ於テモ、非常ニ善意ニ於テ爲サレル場合ニ於テモ、此法律ハサウ云フ場合ヲ罰スルコトニナッテ居ル、即チ暴力トカ何トカ云フヤウナ行爲ノ現ハレナイデモ、結社ヲスルトカ、煽動ヲスルトカ云フコトニハ當嵌メルコトガ出來ル餘地ガアリハシナイカ、サウ云フモノニ對シテハ甚ダ氣ノ毒デハナイカト云フ私ハ考フ有チマスカラ、御伺ヒスルノデアリマスケレドモ、ドウモ私ノ考ヘテ居ル所ニ御考ニナッテ居ル思想ガ御イデニナラヌヤウニ私ハ思ヒマス、幾ラ申シテモ心持ノ移ラヌコトハドウモ仕方ガナイ、甚ダ遺憾デアリマスガ、是デ止メテ置キマス
○國務大臣(小川平吉君) 唯今ノ黑田男爵ノ御話ヲ伺テ見マス、衆議院ニ於テモサウ云フ風ナ御問ヒガアッタノデアリマス

ルガ、理想トシテ千年万年ノ後ニ例ヘバ實現スルト云フコトデアアルトドウカト云フ御話ガ衆議院ニ於テアッタノデアリマスガ、ソレハ詰リ理想トシテ研究スルコト云フ意味デアレバデス、ソレハ無論本法ニハ觸レナイト思ヒマス、是ハ何處マデモ今日私有財產制度ノ否認ヲ行ハウト云フ者ヲ罰スルノデアリマスカラ、遠キ將來ニ於テ……今日ハ無論コンナコトヲシタラ人類ノ進歩ハ止マッテ仕舞フ、社會ノ根本ガ崩レマスカラ出來マイガ、今ノ千年ノ後ニ於テ理想トシテコンナ社會ガ出來タラドウデアラウ、或ハ想像以上是ハ面白イデハナイカト云フ研究上ニ止マルモノハ無論ヤラヌ積リデアリマス、之ヲ行フト云フコトカラ何處マデモ行ッテハイケナイト云フコトニナルノデス
○男爵黑田長和君 益、非常ナ不徹底ナ話デ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、千年万年デモ、百年デモ十年デモ、兎ニ角實行シヤウト思ッテ掛ッタモノハ法律ノ性質ニ於テ違フ譯ハナイノデアアル、國家ノ國體ヲ變革スルト云フヤウナコトモ、今日行ハウト云フ目的ヲ以テヤル者ハ殆ドナイダラウト思フ、即チ斯ウ云フ風ニシテ、アア云フ風ニシテ將來ニ於テ行ハフト無論言フノデアリマス、其計畫ヲ立テルトキニハ、現在ニ於テ直チニト云フヤウナコトヲ考ヘルノデヤ無論ナイノダラウト思ヒマス、デコッチノ方ハ、今此法律ニ於テ目指シテ居ル所ノモノハ犯罪デアリマスカラ、直チニソレハ之ニ依ッテ罰スルト云フコトニナルケレドモ、私ノ今申スノハ固ヨリ此善意ノコトデ、私有財產制度ヲ否認スルト云フコトダケガ甚ニゴザイマシタナラバ、其善意ノ計畫マデモ罰セラレルコトニナリハシナイカト云フコトヲ憂ヘテノ話デアリマス、即チ理想デアレバ千

年万年先カ百年先カ、即チソレハ理想デアッテモ唯研究ト云フノデナクシテ、詰リハ是ハドウシテモ行ヒタイト云フ決心デ、是ハ唯空論デヤナイ、如何ニ遠イ未來ニ於テ致ス所ノモノデモ、空ニヤッテ居ルト云フノデハナクテ、國家ノ爲ニ斯ウ云フ風ニナルベキモノデアアルト云フコトヲ眞ニ其人ガ信ジテ、國家ノ爲ヲ本當ニ思ッテ之ヲ始メタ場合ニ、矢張り此綱ニ掛ルト云フコトニナリハシナイカト云フコトヲ憂ヘテ私ハ申シタノデアリマス
○國務大臣(小川平吉君) ソレハ善意ト仰セニナリマスルガ、此目的、即チ私有財產制度ヲ破壞スルト云フ事情ガ惡イコトト見テ居ルノデスカラ、ソレヲシヤウト云フコトヲ……善意ト仰シヤイマスケレドモ、ソレハ善意デアラウガ、惡意デアラウガ、之ヲ目的トスルコトハ罰スルト云フ趣意デアリマス、御承知ノ通り共產主義ナルモノハ、中ニ一種ノ理想ヲ有ッテ居ッテ、立派ナ理想ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、人類ノ爲ニ是ガ良イト云フ信念ヲ有ッテ居ル者ガ幾ラモアル、併シ是ハ今日ノ社會國家ノ爲ニイケナイ、之ヲ壞ハシテ仕舞フモノデアアル、却ッテ人類ノ不幸ヲ招キ、國民ノ不幸ヲ招キ、國家ヲ壞ハスト云フ見地カラ罰スルノデアアル、其人ニハ大層立派ナ考デアルカ知ラヌガ善意惡意ニ拘ラズ、斯ウ云フ目的ヲ以テ仕事ヲスルヤウハ止メナケレバ、政府トシテハ此國ハ壞レテ仕舞フト云フ考カラ、其人ハ、如何ニ理想デアッテモ學者デアッテモ一向構ハヌ、罰スルノデアリマス
○男爵黑田長和君 サウ云フコトナラ先ヅ分ッテヤウデアリマス、前ノ御話トハ洵ニ違フヤウニ思ヒマスカラ……
○子爵大河内輝耕君 私ハ今ノ問題ニ關聯

シテ御尋ネシタイノデアリマスガ、私ハ今ノ論者ト違ヒマシテ此規定ハ極メテ明白ナル規定ト認メテ居ルノデアリマス、唯文字ノ上デハ極メテ明白ニ考ヘラレマスガ、實際上ノコトニ付キマシテ一ツ事實ヲ御尋ネヲ致シマスガ、共產主義、私有財産制度ノ否認ト云フコトニナリマス、形ノ上カラ言ヘバ國體ノ變革トハ全然分レテ居ルコトニハ書イテアルノデアリマス、ドモ、ドモ東西古今ノ狀況ヲ見、又理論的カラ考ヘテ見ルト、共產主義ト云フモノハ必ズドウモ國體變革ヲ伴フカノヤウニ思ハレル、ソレデ之ヲ同ジヤウニ御尋シニナッテ御趣意モ多少其邊カラデモ來テ居ルノデヤナカト思ヒマス、之ニ付テ伺ヒタイノハ、實際ノ日本ノ狀況並ニ日本ノ思想界ノ狀況、並ニ露西亞ノ宣傳ノ様子デアリマスガ、是ハ共產主義ト云フモノヲ標榜シテ居リマシテ大變革ニハ間エマスケレドモ、實ハサウデハナクシテモト重大ナル方ノコト迄モ伴テ居ルヤウニドウモ我ハ解サレルノデアリマス、其邊ノ實情ハ如何デアリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 唯今ノ御質問ハ、此共產主義ガ其目的トスル所ハ政治的ニ影響ガアルト云フコトハ、實際運動トシテハ確ニ左様デゴザイマス、亞米利加ノ「ケンタッキー」州邊リノ取締法ニゴザイマスカ、是ハ亞米利加各州ニ斯ウ云フ形ニナッテ居リマス、ソレデ「サンデカリズム」ノ犯罪ノモノ「ダケ」ヲ取締ル、之ニ皆「サンデカリズム」ト云フモノノ定義ヲ下シマシテ「政治的目的ヲ完成スル手段トシテ又政治的の革命ヲ惹起スル手段トシテ犯罪、肉體暴行、放火、財産破壊、威嚇、兇暴ノ遂行援助勸告スル行爲其他違法ノ行爲方法ヲ云フ」、斯ウ云フ定義ヲ致シテ居リマス、詰

リ産業革命ヲ致スノデアリマスガ、産業革命ヲ致スニハドウシテ見タ所デ權力ヲ變革シナケレバ出來マコトデアリマス、何故ナラバ即チ今日ノ主權ニ依ッテ保護致シテ居ル法律關係ハ今日ノ社會事情ニ現ハレテ居ル事柄ヲ保護シテ居ルノデアリマスカ、是ハ革命的ニ變革スル、即チ産業革命主義、産業ヲ變革スルト云フコトニナリマスレバ、法律關係ヲ破壞シナケレバナラヌ、法律關係ヲ破壞スルニハ政治的ニ立入ルコトハ當然ノ歸結デアリマス、ソレデアリマスカラシテ、本當ニ共產主義ト云フモノヲ實現スルニハ常ニ政治的意味ヲ持ツノデアリマスカ、是ハ詰リ社會ノ主義學理上ノ問題ニアラズシテ、運動ノ實際ノ結果カラ言ヒマス、必ズソコニ到達スルノデアリマス、學問上カラ申シマスレバ、申ス迄モナク共產主義ハ私有財産、即チ所有權ヲ否定致シマシテ、之ヲ公有、若クハ直接ノ場合ニ於テハ國有トシ、漸次本當ノ理想ニ達シヤウ、斯ウ云フノデアリマシテ、共產主義ソレ自體ハ政治的變革ヲ意味シテ居リマセヌガ、之ヲ實行致シマスルニハ、只今申上デマスヤウニ私有財産ヲ保護シテ居ルモノハ國權デアリマス、其國權ヲ變革スルコトナクシテ其目的ニ到達スルト云フコトハ殆ド出來ナイコトデアリマスカ、自然其結果左様ニナルノデアリマス、ソコデ此政治的、若クハ社會的運動トシテノ見地カラ申シマスレバ、或ハ其國權ノ否定變更ト云フコトダケデ、總テノ關係ヲ包括スルヤウニナリマスルケレドモ、ソレハドウモ法文上ニ於テハサウ云フコトハ云ハレヌノデアリマシテ、法文上ニ於キマシテハ私有財産ヲ否定致シマス所ノコトヲバ、特ニ此處ニ現ハス必要ガアリマシテ、共產主義ソレ自體ヲ此處ニ現ハスト云フ意味デモナイノデ

アリマス、固ヨリ共產主義ト云フモノガ主モノモノデアリマスカ、共產主義ト云フモノヲ基礎トシテ私有財産否認ト云フコトヲ一切禁ズルト云フコトヲ掲ゲタノデアリマス、書現ハシマシタ以上ハ「サンデカリズム」ノ名稱ヲ採ルニ致シマシテモ、社會主義ノ名稱ヲ採ルニ致シマシテモ如何ナル主義ノ名稱ヲ採ルニ致シマシテモ、最早斯ウ云フ風ニ法文ヲ書キマシタ以上ハ、如何ナル主義ヲ採ルト致シマシテモ問フ所デハナイノデアリマシテ、私有財産ノ根據ヲ否定スルト云フコトガアッタナラバ、之ニ依ッテ取締ルト共ニ、ドンナ亂暴ナ主義、共產主義ト云フヤウナ主義ヲ置イテ見タ所デ、其所有權ヲ認メヌ其程度ニ於テ取締リヲスベキモノデ、ドンナ綱目ヲ掲ゲマシタ所デ本法ノ問フ所デハナイノデアリマス、即チ立法ノ政治的見地カラ申上デレバ無政府主義、共產主義ヲ採ルノデアリマスカ、法文トナッテ現ハレマスレバ共產主義、無政府主義ト云フコトデ以テ犯罪ヲ構成シナイノデアリマシテ、此本法ノ犯罪ヲ構成致シマスノハ矢張り統治權ヲ根本カラ否認シ、變革シ、若クハ私有財産ト云フモノヲ否認スルト云フ綱目ガアリマス以上ハ之ニ適用致シマスノデ、社會主義デアラウト、共產主義デアラウト、是ハ第二ノ問題ニナリマシテデアリマス、サウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒマス

○國務大臣(小川平吉君) 唯今ノ御尋ネノ中ニハ實際ノ狀況ハドウカト云フ御尋ネガアッタヤウニ思ヒマスカ、其コトニ付テ申上デマスガ、實際ノ此共產主義ト云フモノハ丁度先程大河内子爵ノ御話ニアリマシタ通り、是ハモウ今ノ權力ト云フモノヲ壞シテ終ッテ、日本デ言ヘバ無論多イコト迄モヤッテ、サウシテ労働者ノ專制政府

ヲ作ラウト云フ所マデアルノガ、今日ノ大體ノ共產主義デアリマス、今日ノ共產主義ト云フモノハ主ニ露西亞ニ於ケルノガソレデアリマスガ、露西亞デヤッテ居リマスル通り、此權力ヲ壞ハシ、多イコトデアリマスガ、皇室ヲ無論認メズ、露西亞ノヤウニヤラウト云フノデアリマスカ、共產主義ト云フト何カ財産デモ平分スルト云フヤウニ見エマスガ、九デ權力ヲ壞シ社會ヲ破壞スルト云フノガ實際ノ狀況デアルノデアリマス、ソレダケ申上デ置キマス

○子爵大河内輝耕君 唯今ノ御答デ大變明瞭イタシマシタ、次ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ少シ文字ノ方ニナリマスガ、私有財産制度ヲ否認スルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ私ノ調査違ヒカ知レマセヌガ、衆議院ニ於ケル御説明ニ依リマス、是ハ所有權ノ否認デアッテ、所有權ヲ沒收スルト云フコトヲ言フノデアッテ、債權ノ否認トカ其他ノコトハ這入ラヌト云フ風ニチヨット聞取リマシタノデアリマス、是ハ私ノ伺ヒ違ヒカ知レマセヌガ、私ノチヨット解シマスル所デハ所謂私有財産ハ私有財産デ、債權デアルト、借地權デアルト何タルトヲ問ハズ、是ヲ根本カラ否認スルト云フコトデアレバ、矢張り憲法ノ第二十七條ニハ所有權ト書イテアリマスガ、アレハ決シテ單純ナ所有權ノ意味デナクシテ私ハ財産權ト云フ意味デアルト解シタイト思ヒマスカ、其點ノ解釋ハ如何デアリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 唯今御説ノ如ク衆議院ニ於キマシテハ、債權ヲ否認シタノハ如何ニナルカト云フコトカラシテ、其財産ノ問題ガアリマシタ、今回茲ニ財産ト云フコト矢張り其憲法ノ所有權ト云フ意味ヲ大體此觀念ト致シテ居リマスノデ、御意見ノ通り憲法ノ所有關係ト云フモノハ、民法

ノ所謂所有權ト云フ狭イモノデナイコトハ
疑ヒナイコトデアルト思ヒマス、所有權ニ
致シマシテモ、若クハ其他ノ所有權ヲ基礎
ニ致シテ居ル有價證券ヲ以テスル債權ノ如
キ、是ガ即チ憲法ニ於テ保障スル所ノモノ
デアラウト思ヒマス、左様ナ意味デ憲法ノ
所有權ト云フモノハ嚴格ナル民法ノ意味デ
ハナイノデアリマシテ、廣ク使ハレテ居リ
マス、即チ單純ニ世ノ中デ申ス財産ト云フ
意味トサウ遠イコトデナカラウト思ヒマ
ス、唯之ヲ法律的二申シマシテ、債權ヲ否
定スルト云フコトハ本法ニ於テ含マレルカ
ドウカ、債權ヲ否定スルト云フガ如キコト
ハ丁度民法ニ於ケル債權ノ不履行、債權ノ
不履行ニナリマシテモ、今日ノ法制ハ犯罪
ニハナリマセヌ、即チ債權ガ不履行ニナリ
マスレバ、裁判ノ判決ニ依テ強制執行ヲ
スル外ハナイノデアリマス、サウ云フ次第
デアリマスカラ債權ノ不履行ヲスル、債權
ヲ否認スルト言フ所ノガ財産制度ヲ否認
スルト云フ譯ニハ參リマセヌノデアリマ
ス、即チ本案ノ問題ハ物ニ對スル關係、若
クハ之ニ似寄ク有價證券ヲ以テスル債
權……免ニ角一ツノ經テ觀念デゴザイマ
シテ、國民ノ財産ヲ有スルト云フ其所有ト
云フコトニ御考ヲ願フタ宜カラウト思ヒ
マス、國民ガ財産ヲ有スルト云フ即チ所有
スルト云フコトヲ否定スル、斯様ナ觀念デ
アリマスカラ、民法ヤ商法ノヤウニ債權ヤ
物權ト云フ意味デ説明ハ出來ナイト思ヒマ
ス、又憲法ノ言フ所モ大體左様デアラウト
考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 大體御趣旨ハ解リマ
シタガ、成程一部々々ノコトヲ言フノハ此
趣意デナク、財産制度ノ根本否認ヲ言フノ
ダト云フ御話デゴザイマスガ、此財産ノ全
部ヲ潰スト云フノデハナクテモ、例ヘバ債

權ト云フモノヲ履行シナイデモ宜イノダ、
俗ニ借金ナドハ返サナクテモ宜イ、斯ウ云
フヤウナコトモ矢張り財産權ノ否認ニナ
ル、詰リ量ノ問題デナク質ノ問題デアル、
始終御説明ニナッテ居ルヤウニ、斯ウ云フ
風ナ頭カラ財産權ト云フモノヲ否認シ、借
地權ハ持ッテ居ルガ、サウ云フノハ認メナ
イデ宜イト言ヘバ、斯ウ云フ風ニ言ッテ
來ル、是ハ量カラ言ヘバ一部力知ラヌガ、
質カラ言ヘバ根本否認デアラウト思ヒマ
ス、是ハ無論此中ニ入ラウト思ヒマスルカ
ラ……

○政府委員(山岡萬之助君) 是ハ其言葉カ
ラ申シマスルト云フト借金ヲ返サナクテモ
宜シイ、又小作ヲシテ居ッテモ小作料ヲ拂
ハナイデモ宜シイ、斯ウ云フコトダケヲ言
フノハ、ドウモ所有權ヲ否定シテ居ルト云
フ、即チ私有財産ヲ根本ヲ否定シテ居ルト
云フコトハ云ヘナイト思フノデアリマス、
即チ借金ト云フコトヲ認メ、其借金ト云フ
モノハ返ス必要ハナイノダ、ソレカラ又小
作料ト云フモノモ拂フ必要ハナイト云フコ
ト、詰リ債務ノ不履行ヲ勸ムルニ過ギマセ
ヌノデ、債務ノ不履行ヲ勸ムルト云フコト
ハ、私有財産ノ根本ヲ否定スルト云フコト
ニハナリマセヌノデ、ソレデスカラシテ唯
今ノ御説明其モノノミヲ以テ此第一條ノ明
文ニ這入ルカト云フト此明文ニハ該當シナ
イト云フコトニナルノデアリマス、併シ實
際問題トシテ研究シテ行キマスと云フト、
其趣旨ニ於テ財産所有ト云フモノハ趣旨ニ
ナイノデアル、依テ拂フ必要ハナイノダ、
斯ウ云フノデアリマスルト云フト、形ヲ借
金ノ返済ヲシナイト云フコトニ取リマシテ
モ、小作料ヲ拂ハナイト云フ形ニ取リマシ
テモ、ソレハ問フ所デナイ、其爲ス所ニ於
テ所有權ノ根本ヲ否認スルト云フ見地カラ

出テ、サウシテ其一點ニ向ッテ個々ノ所有
權ハ必要ハナイ、此田地ナドハ村ノ有ニシ
テ仕舞ッテ宜イ、沒收シテ仕舞ッテ宜イト云
フノデアラ、一枚ノ田地デモ尙且ツ本
法ニ抵觸スルコトト見テ宜シイノデアリマ
ス
○子爵大河内輝耕君 略、御趣意ハ分リマ
シタガ、サウ致シマスと、此財産ト云フ中
ニハ個々ニ言フ譯デハナクシテ、概括シテ
其人ノ持ッテ居ル債權モ、借地權モ詰リ所
有權ト云フバカリデナイ、全體ノモノ含シ
テノ財産制度斯ウ見テ宜シイノデゴザイマ
スカ
○政府委員(山岡萬之助君) 全體ヲ含シ
テノ制度デアリマス
○委員長(公爵一條厚基君) ソレデハ今日
ハ之ヲ以テ散會イタシマス、明日ハ午前十
時ヨリ開會イタシタイト思ヒマス
午後四時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵一條 厚基君
副委員長 男爵田 健治郎君
委員

伯爵堀田 正恒君
男爵大井 成元君
子爵伊東 祐弘君
子爵大河内輝耕君
子爵板倉 勝憲君
渡邊 暢君
岡 喜七郎君
男爵千秋 季隆君
男爵福原 俊丸君
男爵黑田 長和君
湯地 幸平君
土田 萬助君

國務大臣 小川 平吉君
司法大臣
政府委員 內務省警保局長 川崎 卓吉君
司法省刑事局長 山岡萬之助君

大正十四年三月二十一日印刷

大正十四年三月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局